

平成17年度

社会安全研究財団委託事業

## 受刑者の行為の根底にある考え方・価値観の分析

武蔵工業大学環境情報学部

岩 男 壽 美 子

(平成18年3月提出)

## 事業目的

わが国は長年、世界で最も治安のよい国といわれてきたが、昨今、国民の体感治安の悪化が起こっている。近年実施された政府の世論調査でも、国民の治安に対するニーズが極めて強いことが示されている。その結果、国政選挙における政党のマニフェストには、治安回復のための施策が盛り込まれ、優先順位の高い施策として位置づけられている。こうした状況の背後には、検挙率の低下、外国人犯罪の増加、ひったくりなど身近な犯罪の増加などに伴い、国民の治安に対する漠然とした不安感が増大していると考えられる。

こうした治安回復・維持に対する国民のニーズに応えるためには、国際化の進むわが国の状況を踏まえた出入国管理や治安対策が必要になる。犯罪行為の大半が日本人によるものであった時代には、捜査活動にしても、取調べにしても、それまでに警察が蓄積してきた経験則が有効な指針であっただろう。しかし今日、犯罪のグローバル化が進むという新たな状況に対処する必要性が生じている。来日外国人が行う犯罪には、日本人による犯罪行為に基づく推論が当てはまらない場合も多々あるのではないだろうか。

つまり、日本人とは異なる価値観や判断基準に基づいて犯行に及ぶ外国人犯罪に対する効果的な対策は、日本人の犯罪行為から蓄積された経験則に頼るのでは不十分であり、来日外国人犯罪者の行為の根底にある価値観や考え方を把握する必要があると思われる。無論、外国人といっても出身地域によって行動基準や考え方は一様ではない。そこで本研究では手始めに、外国人のなかでも、日本における外国人犯罪を構成する最大グループである中国人を取り上げ、彼らの価値観や考え方について日本人と比較する。

更に、犯罪の大半が日本人の行為であることを踏まえ、効果的な犯罪対策に役立てることを目的に、日本人犯罪者と一般市民の考え方や価値観を比較検討する。

なお、本調査研究で用いる犯罪者のデータは、法務省との共同研究として2004年秋に日本各地の5つの刑務所で実施した受刑者調査の一部である。一般市民のデータは、本研究事業のために新たに行った調査で得られたものである。

## 調査対象者

### A. 受刑者

日本各地の5刑務所で服役中の受刑者男女のうち：

日本人	1300名	(男性	1140名	女性	160名)
中国人	404名	(男性	375名	女性	29名)

日本語及び中国語の自記式調査票を対象受刑者に配布、回収。調査は無記名。

調査対象者の特徴としては、以下のようなものが挙げられる。

現在服役している原因となった犯罪は、日本人受刑者の場合、覚せい剤など薬物事犯が

多く受刑者の53%に達しているのに対し、中国人は8%と少ない。日本人は傷害が29%に対し、中国人は僅か5%。反対に中国人受刑者に多くみられるのが、窃盗の43%(日本人36%)と強盗の15%(日本人10%)となっている。

また、刑期については、2年以下が日本人では42%と刑期の比較的短いものが多いが、中国人では2年以下は25%に留まっている。中国人は刑期3年から5年のものが41%と、37%の日本人よりも若干多くなっている。

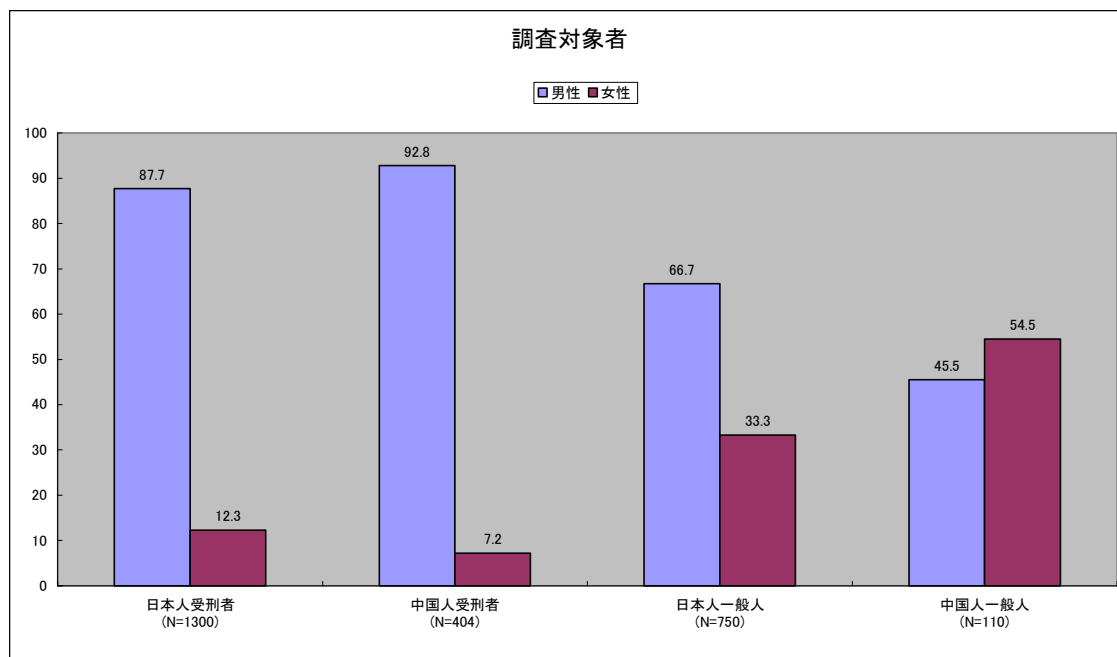
## B. 一般市民

日本人	750名	(男性	500名	女性	250名)
中国人	110名	(男性	50名	女性	60名)

一般日本人は、マーケティング・サービス・ネット調査モニターから、性×年齢割付のうえ、ランダム・サンプリングしたものである。年齢は20～69歳。調査方法は、インターネット調査である。

一般中国人は、調査時期が中国における反日デモの直後であったために、中国での調査が困難となり、次善の策として留学生を中心とする在日中国人に個人的つてをたどって調査票を配布、回収したものである。無記名自記式調査。年齢は20～64歳。

調査対象者は次に図に示す通りである。



## 主な調査項目

さまざまな行為の善悪判断  
責任転嫁傾向  
犯罪行為に対するリスク認知(捕まる確率)  
禁止されていないことをしてもよいか  
日本における犯罪と法執行機関の評価  
服役目的と刑期終了後の罪の意識・犯罪者の婚姻関係  
犯行理由の推定  
窃盗行為に対する責任帰属  
人生観・社会観  
他者による行為に対する嫌悪感  
犯罪被害者となる不安感  
親の躾  
家族に対する暴力、家族からの暴力

一般市民用の調査票(日本語版)は本報告書末尾に添付。

## 結果の概要

グラフ化したデータに基づく結果は、次のセクションで詳述するが、まず、結果の概要をここで述べておこう。

さまざまな行為がどの程度悪いことかという判断については、調査対象の4つのグループのうち、特定のグループが一貫して厳しい判断をするということにはなかった。例えば、「仲間を裏切ること」は日本人受刑者が特に悪いことと判断しており、そこに彼ら独特の価値観をみることができる。他方、日本人受刑者が「暴力を振ること」に許容的なのは、傷害罪で服役しているものがかなり含まれていることと関係しているのではないだろうか。

このように行為によって判断に違いがみられるが、「他人の物を壊す」「怪我をさせる」「暴力を振るう」「脅す」「社会のルールを守らない」などについて、一般日本人が最も厳しい捉え方をしていることに、日本社会の一般的規範が現れている。

他方、中国人の判断には、今日の中国社会の状況がかなり反映しているようである。例えば、「他人のものを勝手に使う」とか「社会のルールを守らない」などは、中国では目くじらたてるようなことではないのか、日本人ほど厳しい判断はされなかった。明らかに犯罪行為である「他人のものを盗む」ことについても、悪いと判断する度合いが日本人に比べて低くなっている。

「騙されるのは騙されるほうが悪い」といった行為の責任転嫁傾向については、日本人受刑者の判断は一貫して一般日本人の判断とは異なり、責任を被害者に転嫁する傾向が示さ

れた。

中国人の場合は、受刑者と一般人の間に顕著な差はみられていない。例えば、両群とも「出来心」や「生活苦」から盗みを働いた場合には、違法行為でありながらその責任を特に小さく見積もる傾向がある。

日本で犯罪者が逮捕される確率については、25%以下という極めて低い予測をした受刑者が、日中両群ともに4割前後もあり、検挙率予測が有効な犯罪抑止力を発揮していないばかりか、犯罪を誘発している恐れさえある。

「規則で明らかに禁止されていないこと」にどう反応するかという点については、筆者の経験でも文化によってかなり違いがあるように感じられる。今回の結果はそうした個人的な観察を支持するもので、一般日本人は行動に移すことに極めて慎重で、中国人とはかなりの差があるばかりでなく、同じ日本人でも受刑者のほうが大胆に実行にうつす傾向があることがわかった。

日本での犯罪や刑罰については、一般市民の方が犯罪を「しやすく」、刑罰も「軽い」ととらえる傾向がある。他方、刑罰を実感している受刑者は、「重い」ととらえる傾向がある。

日本の裁判の公正さや刑務所職員による暴行などについては、実体験なしにメディア報道やイメージに基づいて判断している一般人の方が、裁判の不公正さや職員の暴行があるにとらえ、受刑者はそのような事実を否定する傾向が明らかになった。警察官のイメージも、「信用されている」「親切」などを除くと、受刑者の方が肯定的にとらえている。

日本人は受刑者も一般人も、今後外国人犯罪が非常に増えると予測しているが、中国人にはそのような傾向はみられない。むしろ、否定する傾向が強い。

価値意識に関しては、日本人受刑者の拝金主義傾向が目立つ。家族の幸せを願う他のグループに比べ、「金持ちになる」こと、「金さえあれば殆ど何のことがうまくいく」など金にとらわれていることがよくわかる。また、世の中に対する不公平感が強く、正直だと損をすと思う、他人はスキがあれば利用しようとしているなど、対人不信感が強い。また危険だが大きなチャンスのある人生を志向する傾向も認められる。

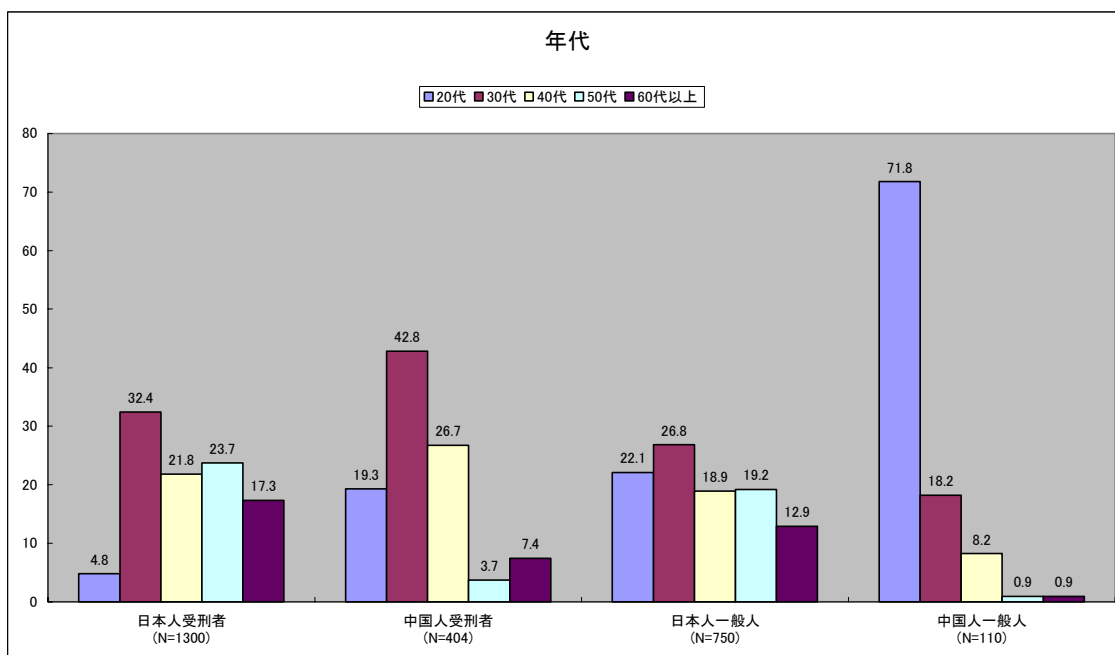
中国人受刑者の場合、運が「悪い」という思いが強く、また欲求の即時化傾向が強い。

子供のころに親から受けた躾については、受刑者群は「嘘をつく」とか「約束を守らない」といった基本的なルール違反に対してきちんと親から叱られるという経験をしておらず、家庭における親の責任の大切さが示された結果になった。

## 結果

以下に掲げる図のうち、番号が付されたものは、参考資料として添付した調査票との対応を容易にするため、調査票の質問項目番号に対応している。

次のグラフは、対象者の年齢構成をグラフ化したものである。



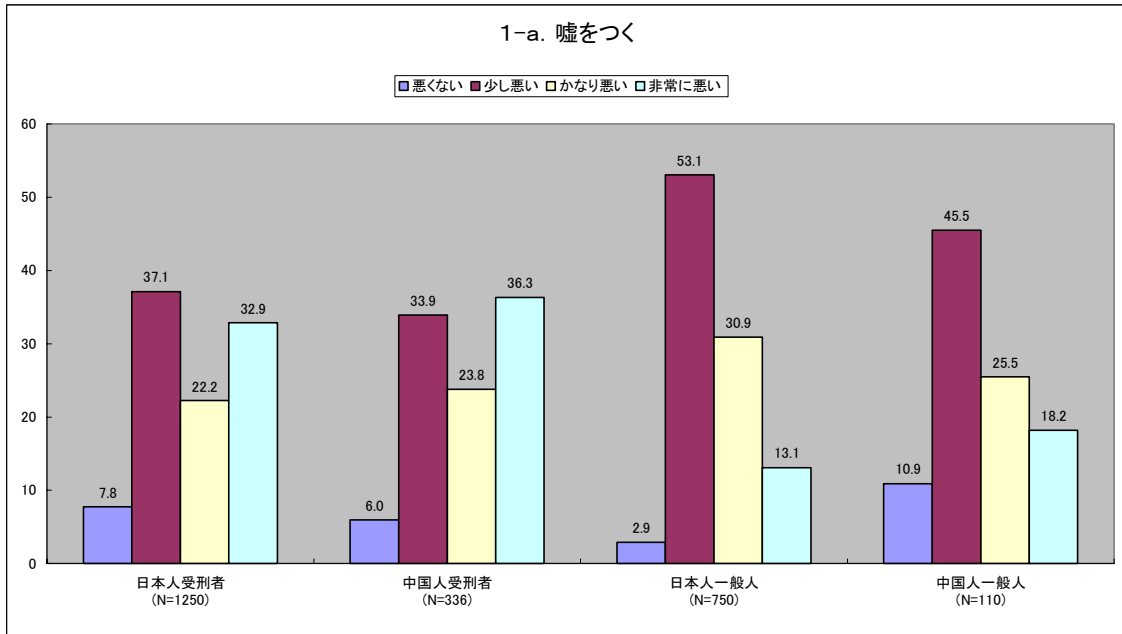
中国人受刑者の6割は30代までの若い層で、一般中国人は20代が7割を占めている。他方、日本人受刑者の高齢化傾向がはっきりと認められる。

## 行為の善悪判断

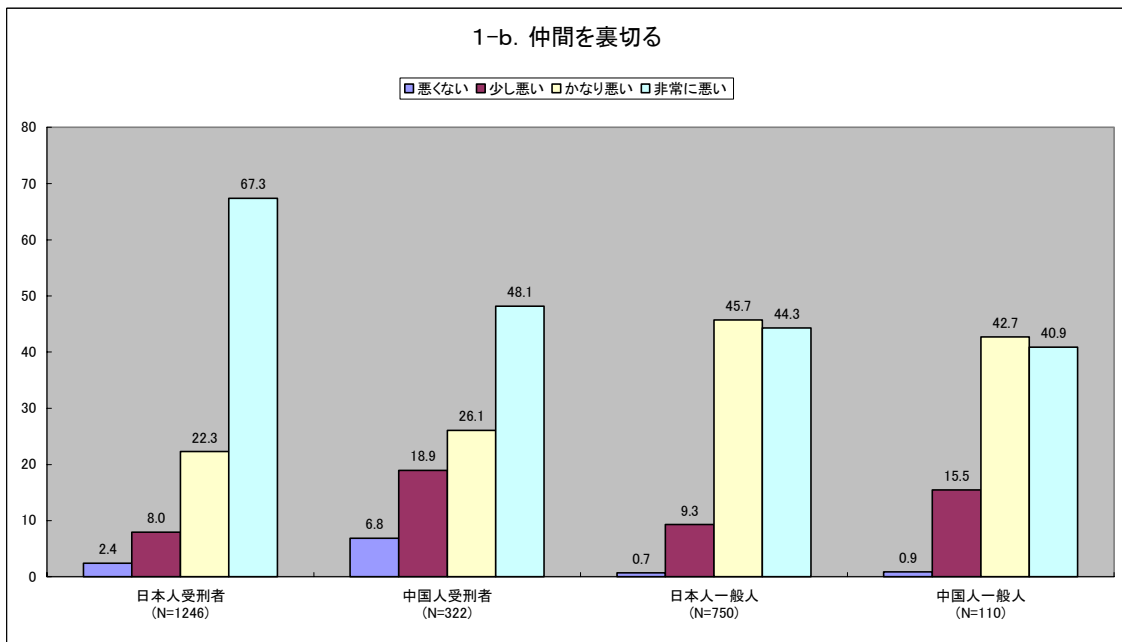
「嘘をつく」「仲間を裏切る」「他人のものを壊す」「他人のものを盗む」「他人のものを勝手に使う」「怪我をさせる」「暴力を振るう」「脅す」「社会のルールを守らない」「性的行為を強要する」の7つの行為それぞれについて、どの程度わるいことと考えるかという判断を求めた。

### 嘘をつくこと

図1-aのように、「嘘をつくこと」に対する評価は、受刑者と一般市民の間で大きな差が得られているが、日中間の差はみられない。予想に反し、受刑者の方が「嘘をつく」ことを一般市民よりも悪いことと判断する傾向が示されたが、これは「嘘」の内容として連想したものが、受刑者と一般市民では異なっていたためではないだろうか。つまり、一般人は日常的な些細な「嘘」を想定し、受刑者は犯罪行為につながるような「嘘」を思い描いていたのかもしれない。

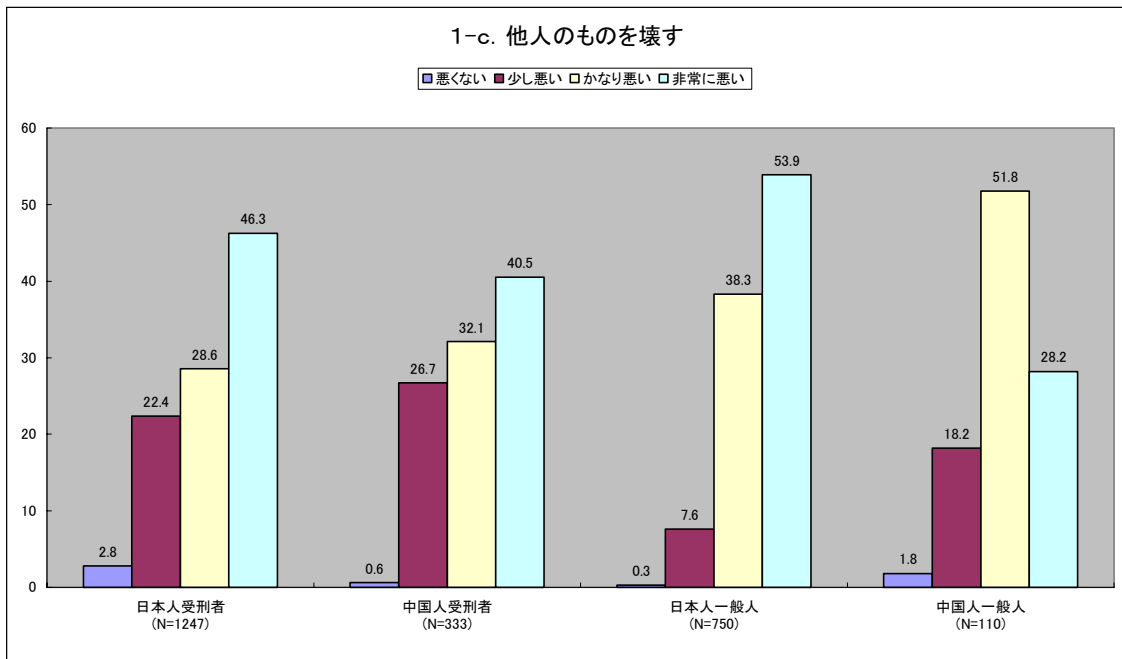


### 仲間を裏切る



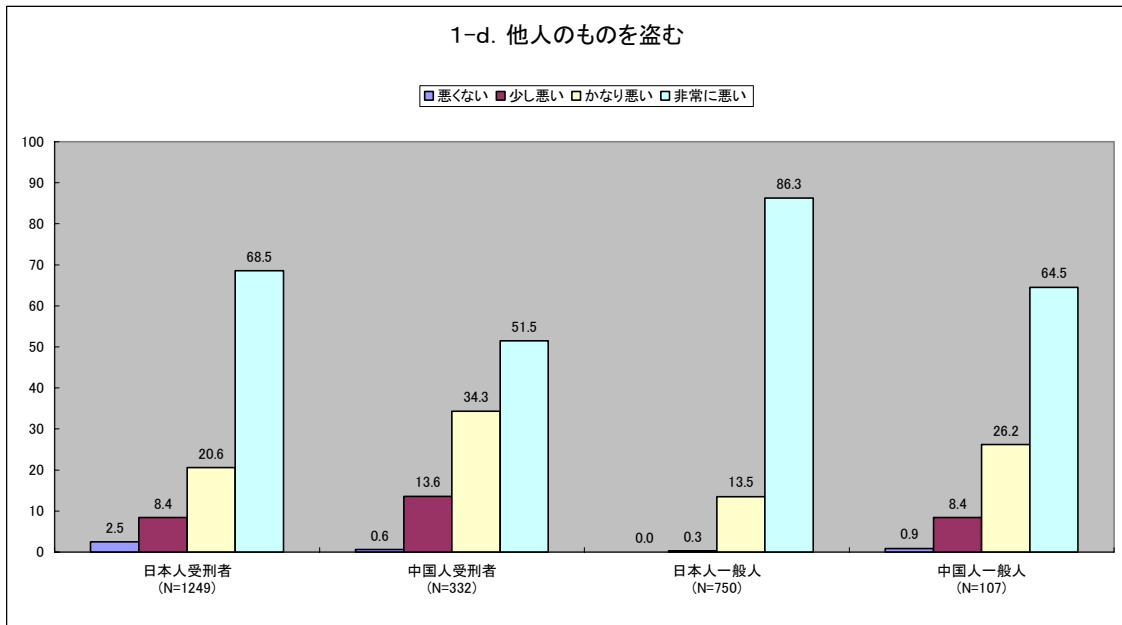
受刑者は日中ともに同じような傾向をみせ、仲間を裏切ることを非常に悪いことと判断する傾向がある。特に日本人受刑者にその傾向が強いことは、受刑者に暴力団組員が含まれていることが響いているのかもしれないが、彼らの犯行や考え方を理解するうえで役に立つ情報を含む結果ともいえるのではないだろうか(図1-b)。

### 他人のものを壊す



「他人のものを壊す」ことに関する日中の受刑者の判断傾向は類似しており、予想通り一般日本人の判断の方が受刑者より厳しい。しかし、一般中国人はそれほど厳しい判断をしていない。「ものを壊す」程度の行為は大したことはない、という判断であろうか（図1-c）。

#### 他人のものを盗む

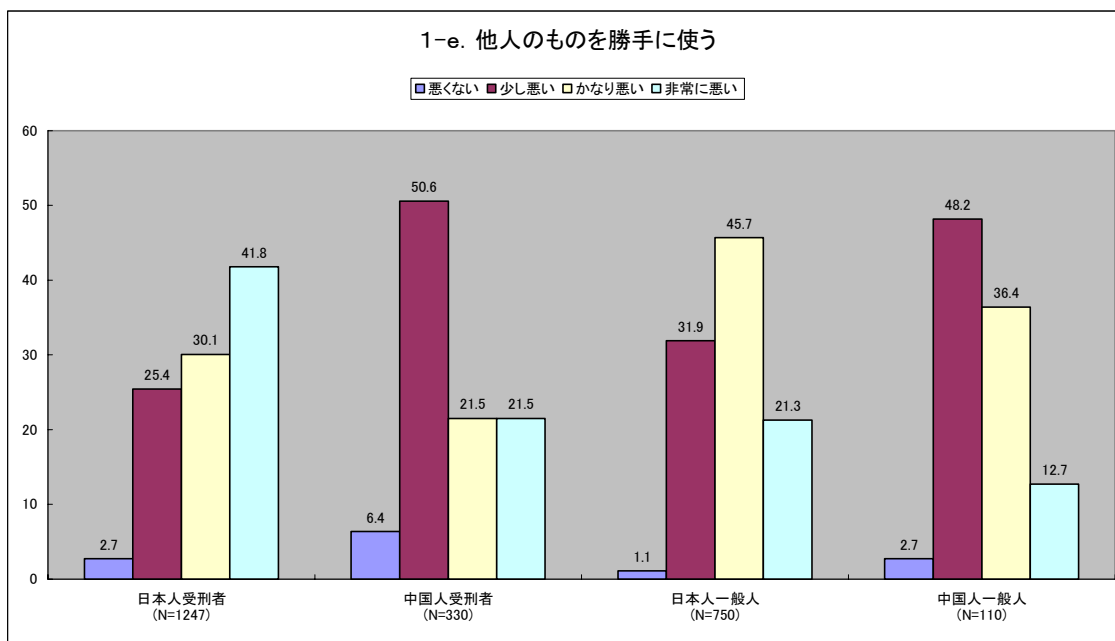


「他人のものを盗む」という行為は明らかに犯罪行為であるが、日本人の判断の方が中国人よりもかなり厳しく、また、日本人も中国人も受刑者よりも一般人の方が厳しいとい



う、予想どおりの結果となった(図 1 - d)。受刑者たちは両群とも窃盗で服役中のものが多いことが、彼らの甘い判断結果につながったのかもしれない。

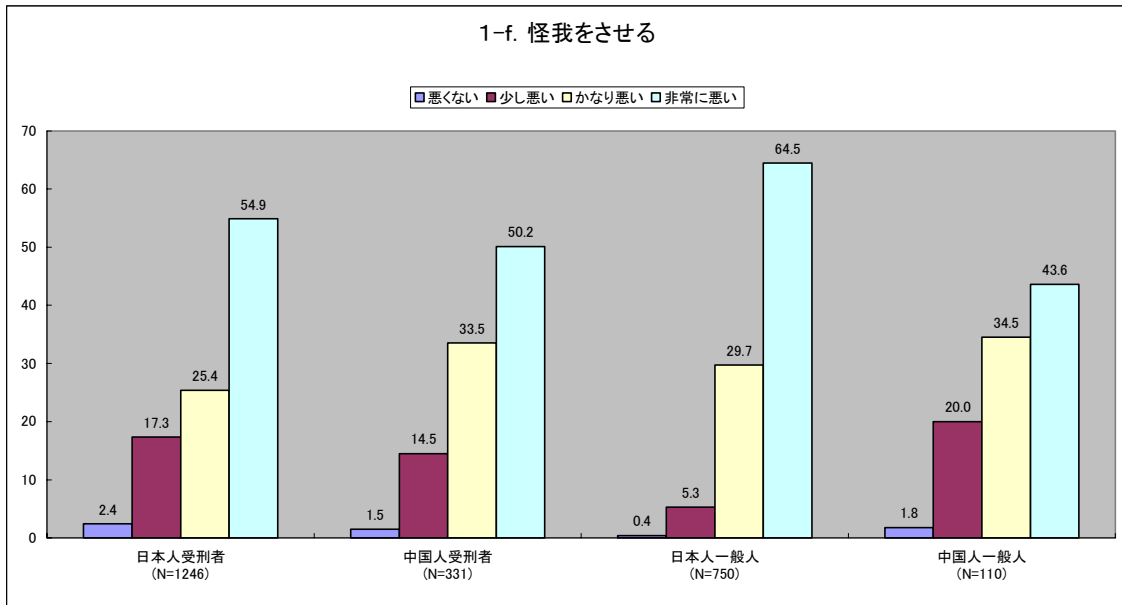
### 他人のものを勝手に使う



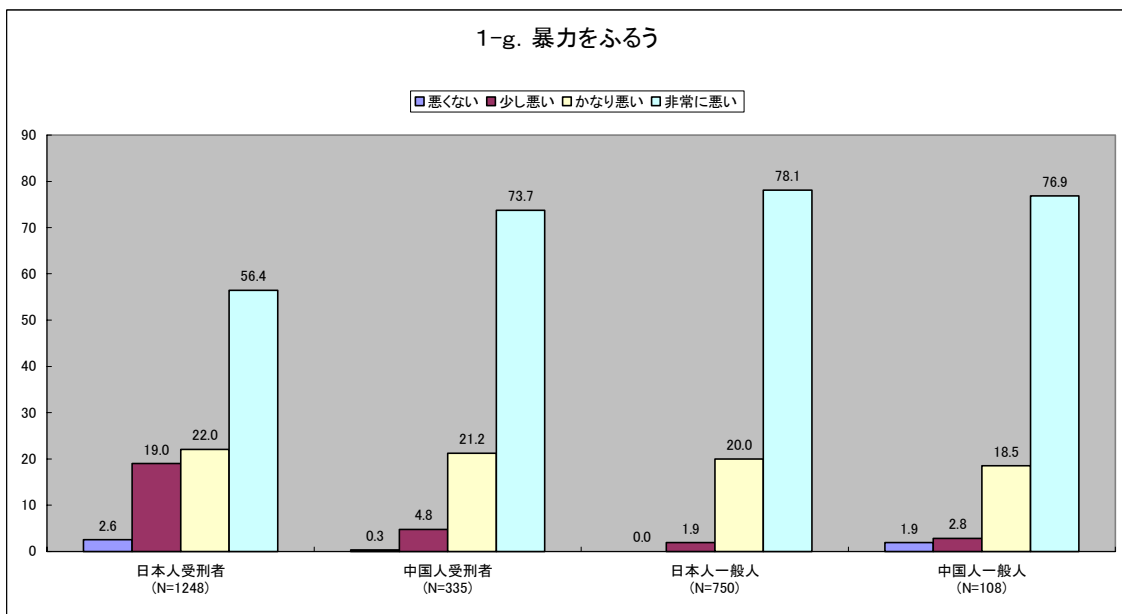
「他人のものを勝手に使う」ことについては、日中の違いが明らかにみられる結果となった。中国人の方が甘い判断になったのは、勝手に使う程度では犯罪とまではいえず、大したことではない、ととらえたのであろうか。一方、日本人受刑者の厳しい判断は、他人の「もの」として他人のカード或いは自転車のようなものを想定していたのかもしれない(図 1 - e)。

### 怪我をさせる

「怪我をさせる」ことについては、一般日本人が最も厳しく、次いで日本人受刑者、中国人受刑者となっているが、なかでも一般中国人の判断の甘さが注意をひく(図 1 - f)。



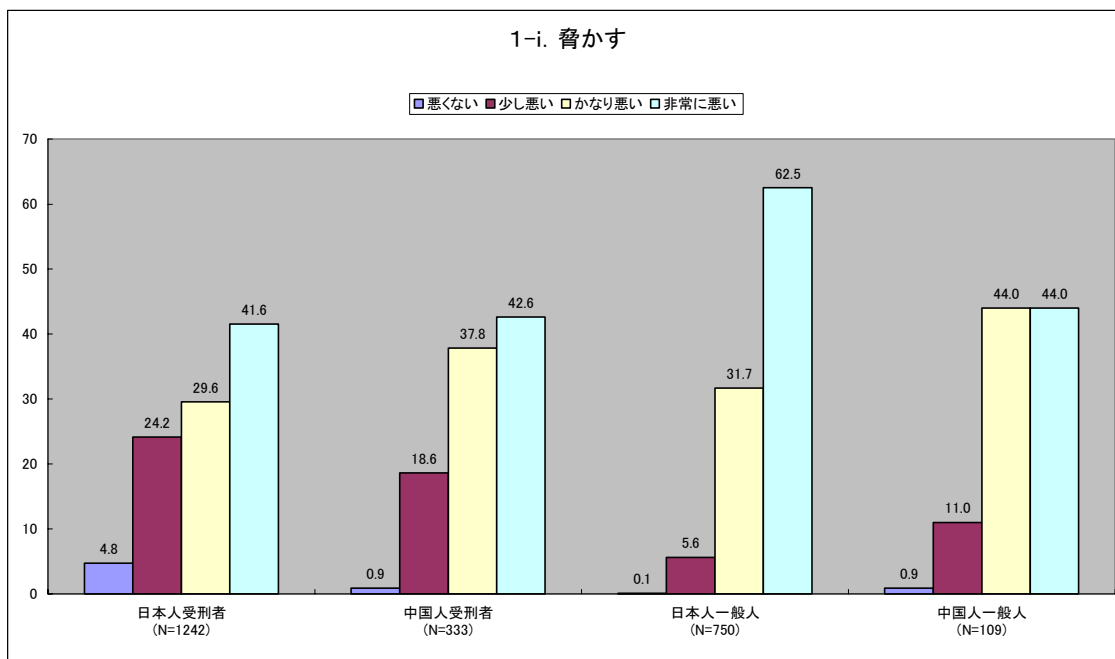
暴力をふるう



「暴力をふるう」ことに関する図 1-g に示した結果は、日本人受刑者に暴力団員が少なくなく、傷害による服役者が相当数含まれていることと関係があるのではないだろうか。一般人の場合、日本人も中国人も女性のほうが「暴力」を非常に悪いと判断する傾向が強い。両国ともに女性が暴力の被害者となっていることを窺わせる結果といえよう。

「人を殺す」という行為については、どのグループも文句なしに非常に悪いと判断しており、各群の差はみならなかった。

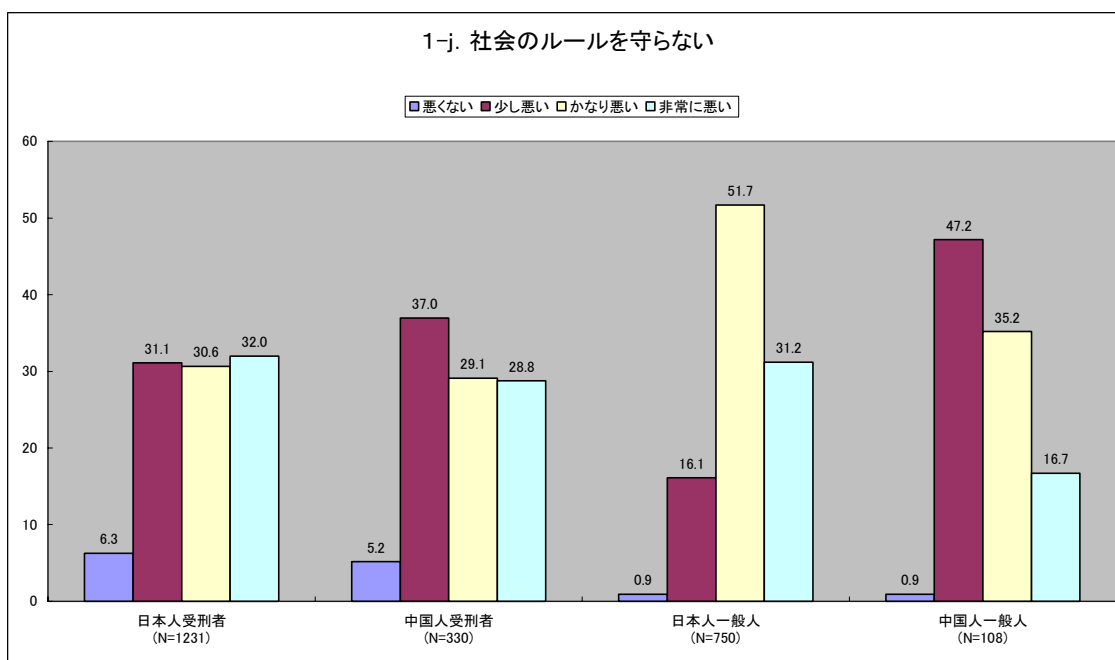
脅す



「脅す」という行為については、一般人、とくに日本人の判断が最も厳しく、受刑者同士では日本人の方がやや甘い判断をしていることがわかる(図1-i)。

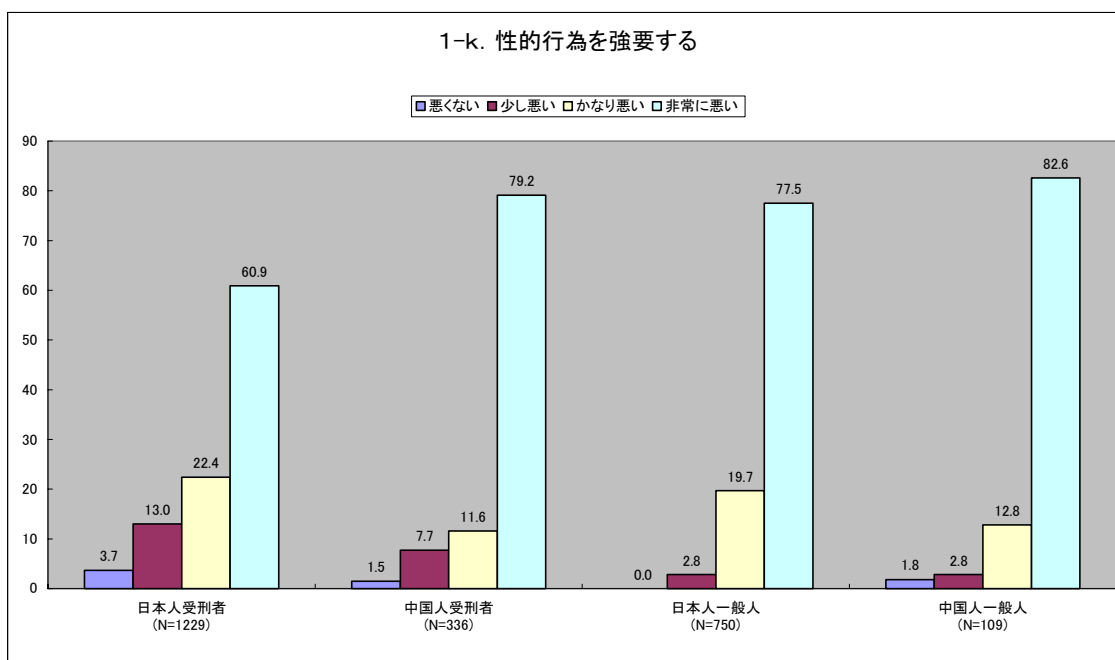
「暴力をふるう」についてと同様、一般人では日本人も中国人も女性の方が厳しい判断をしている。一般に、「脅す」という行為をするのが男性で、されるのが女性という傾向を反映しているのではないだろうか。

社会のルールを守らない



「社会のルールを守らない」ことについては、一般人よりも受刑者の判断のほうが甘い、受刑者グループ間の差はみられない。また、一般人では、日本人より中国人の方がずっと甘い判断をしている(図1-j)。社会的規範が確立していない今日の中国社会の状況を反映しているのではないか。

### 性的行為を強要する

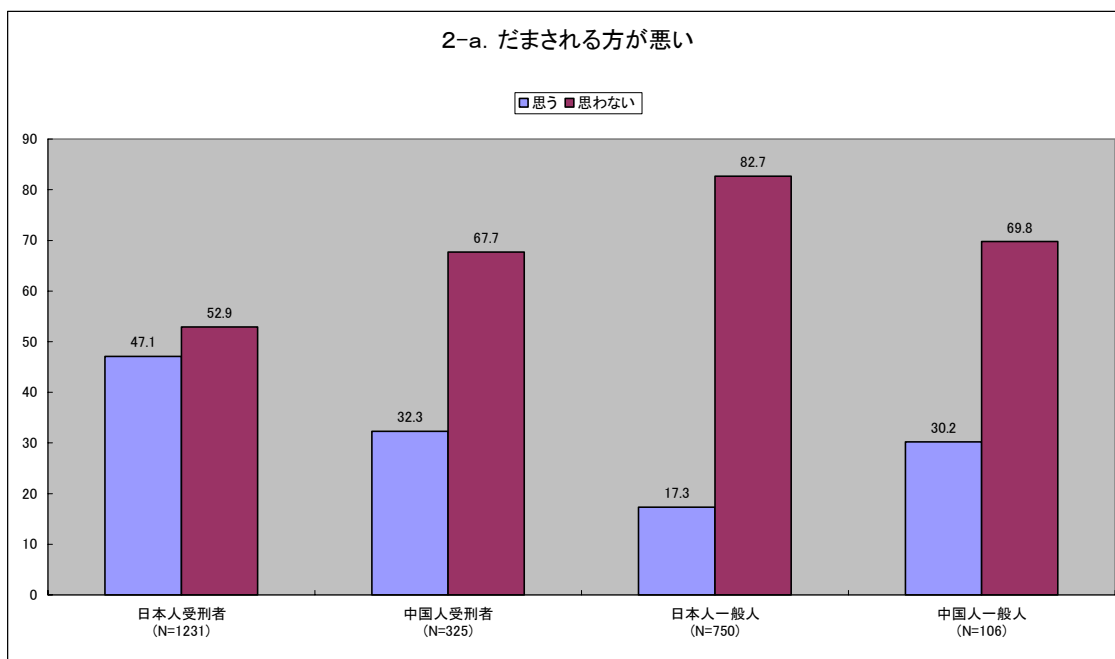


「性的行為を強要する」については、受刑者とくに日本人受刑者の甘い判断が目を引く。一般人の場合、日中両グループとも、男性に比べて女性の方が「非常に悪い」と判断している。

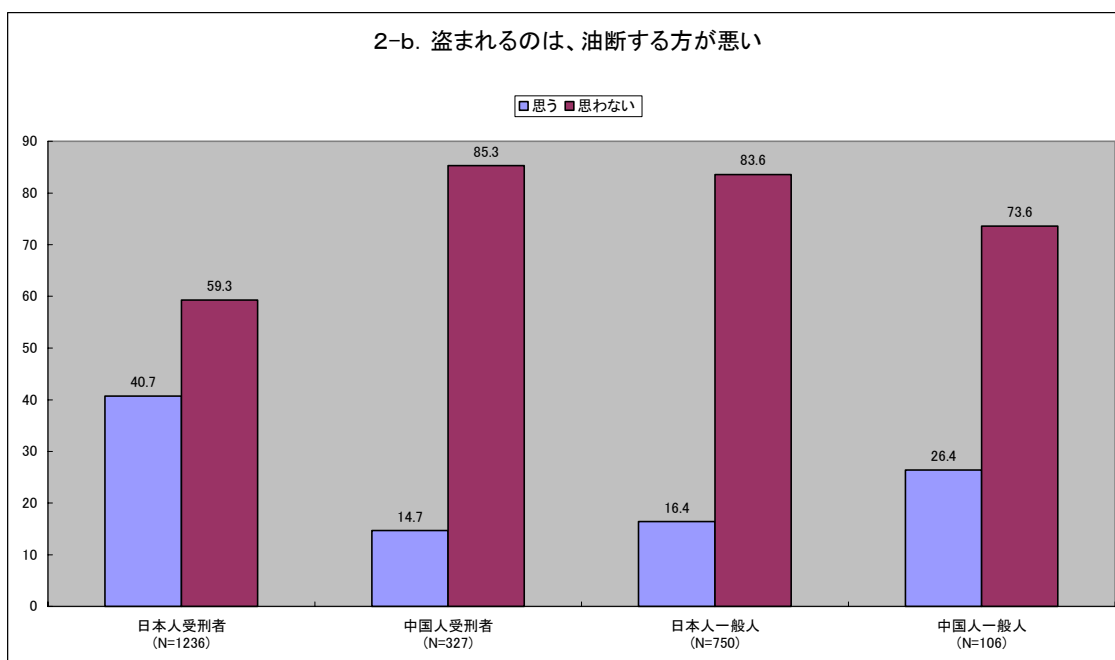
### 責任転嫁傾向

行為の責任を他者に転嫁する傾向を、次の5つの問で捉えようとした。全体的に受刑者、特に日本人受刑者は、一般市民に比べて自己の犯罪的行為の責任を被害者に転嫁する傾向が認められる結果となった。

A. 「だまされるのはだまされる方が悪いと思うか」と訊ねたところ、受刑者、特に日本人受刑者のなかに質問に対する肯定的回答が多くみられ、責任を転嫁する傾向が確認された(図2-a)。

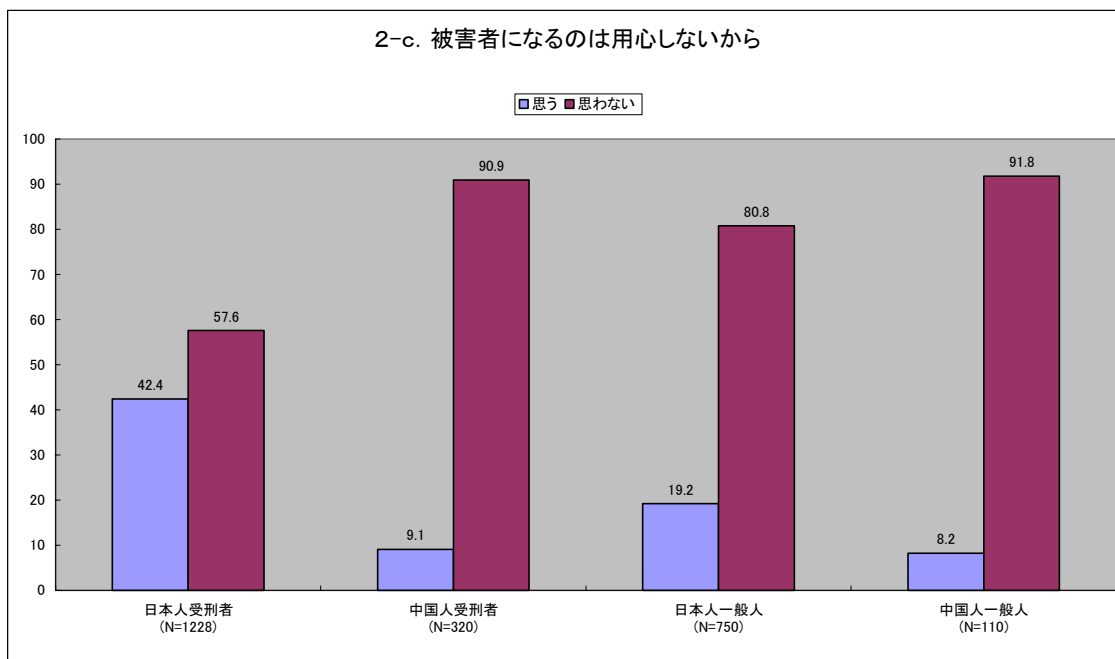


B. 同様に、「盗まれるのは、油断するほうが悪いか」という問に対して、日本人受刑者の同意、つまり責任転嫁傾向が明らかになった。次いで一般中国人が同意する割合が高い(図2-b)。

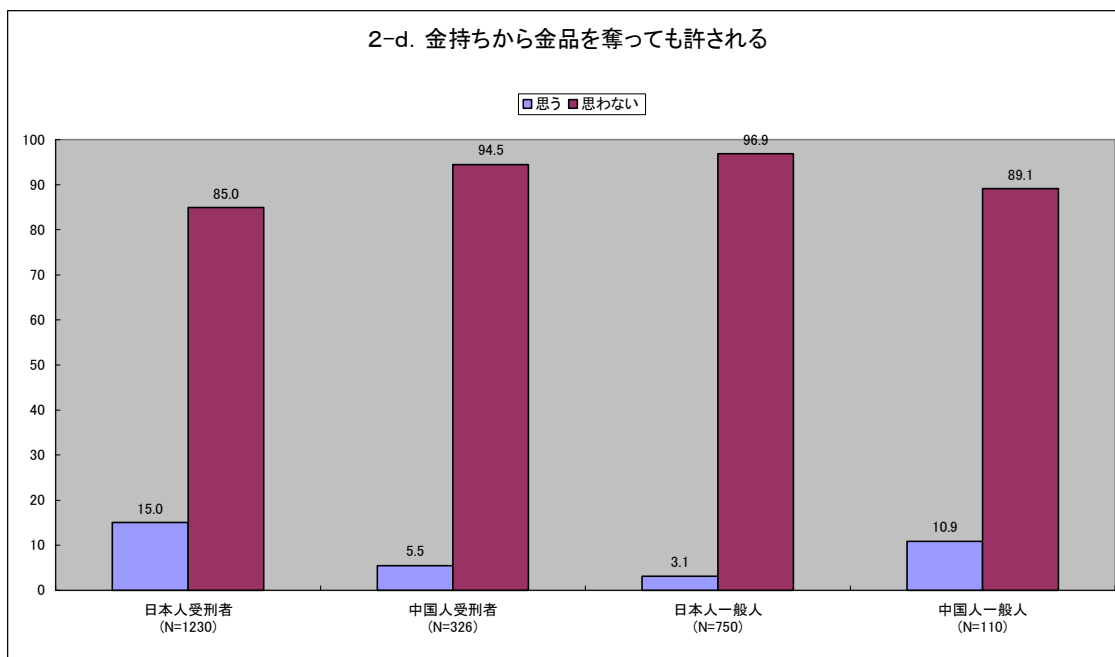


C. 「犯罪被害者になるのは用心しないからだと思うか」についても、日本人受刑者に同感する割合が高く、自分たちの行為を正当化し、責任転嫁をしようという姿勢が顕著にみら

れる (図 2 - c)。

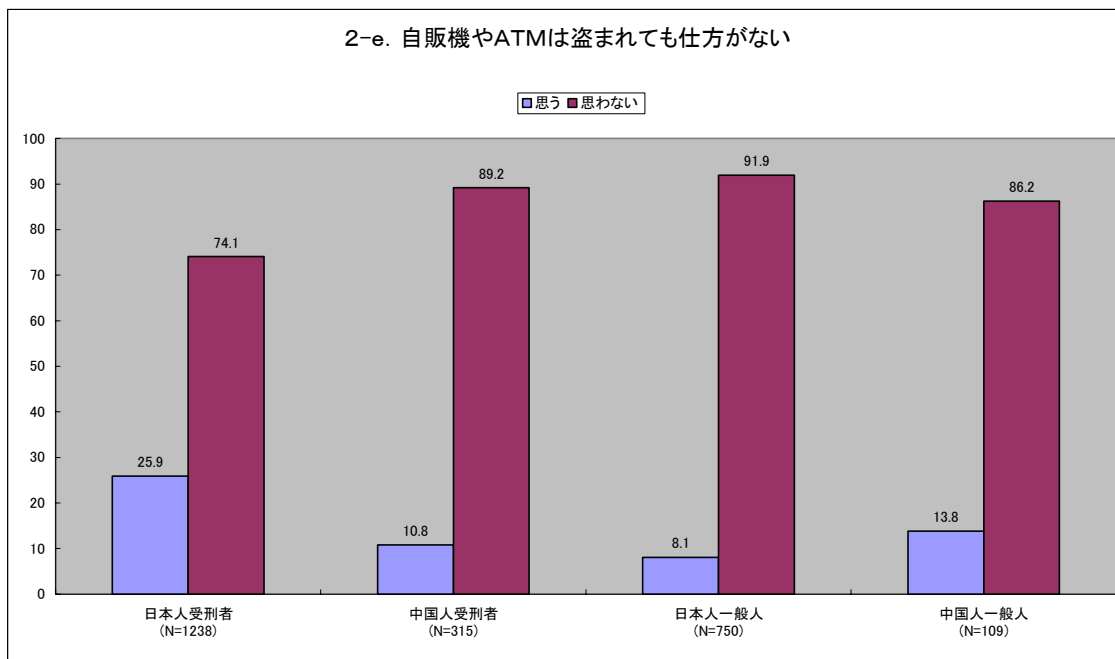


D. 「金持ちからは金品を奪っても許される」という意見に同意する割合は、日本人受刑者が最も高く、次いで一般中国人となっている。ここでも、身勝手な理屈で責任を回避する傾向が認められる(図 2 - d)。



E. 自動販売機や金融機関の A T M が街に氾濫している日本は、こうした状況により盗みを

誘発しているといわれることがある。つまり、設置している方が悪いという論法である。今回の調査結果は、日本人受刑者の4人にひとりはそのような考え方をしていることがわかる（図2-e）。



以上、一貫して日本人受刑者の責任転嫁傾向が明らかにされる結果となった。

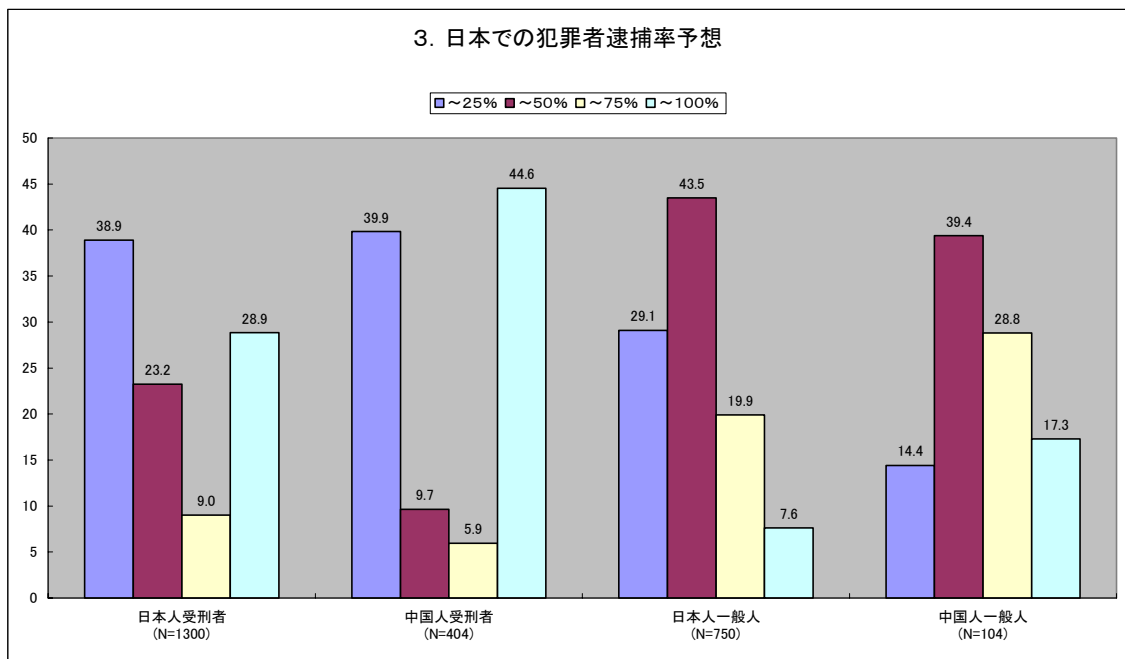
## リスク認知

警察に逮捕されることは、犯罪者にとってはリスクである。しかし、多くの犯罪者が自分は捕まらないと考えて犯罪行為を実行にうつしている可能性がある。次の図3に示した結果は、受刑者と一般人の場合の質問が異なることに留意をしたうえで解釈する必要がある。受刑者の場合、受刑者が犯したと同じような罪を犯した者が日本で捕まる確率を予測した結果である。他方、一般人の場合は、犯罪を特定せずに、日本で犯罪者が逮捕される確率を予測した結果である。

受刑者の結果は、25%以下の低い確率を予測した者と、76%以上100%までの高い確率を予測した者の二つに分かれている。彼らが実際に逮捕され、現在服役中であることを考えると、高い確率予測は当然ともいえよう。

問題は受刑者のなかに、25%以下ときわめて低い確率を予測していたものがかなりの割合で存在することである。

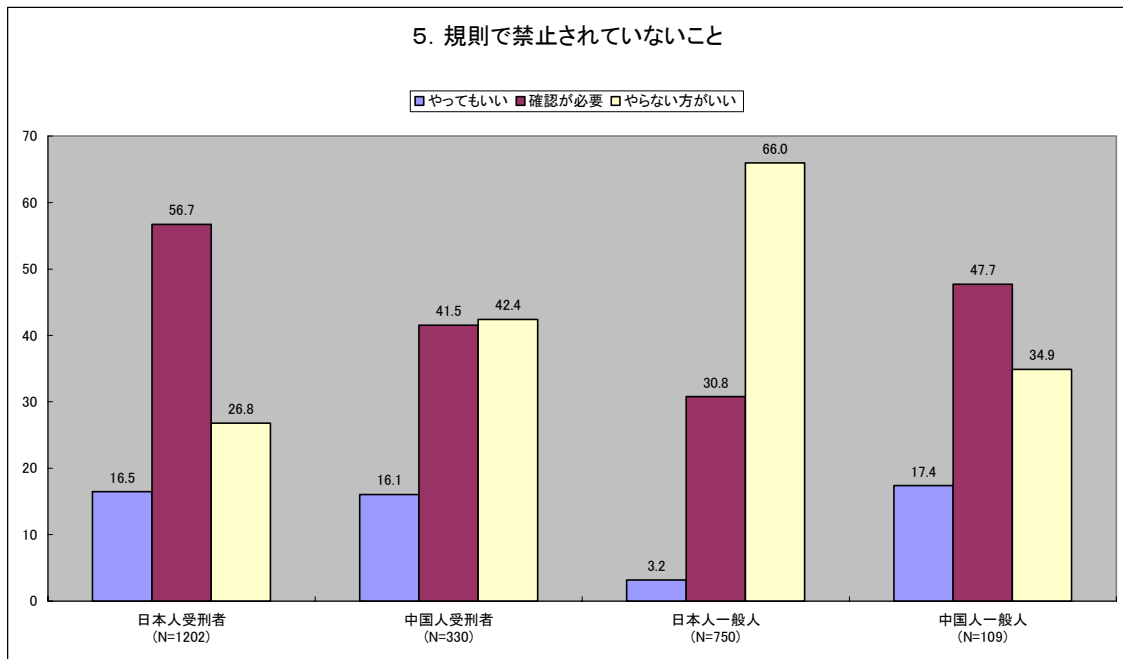
もうひとつの問題は、一般人が日本で犯罪者が捕まる確率を低く予測していることである。こうした判断が、日本人の体感治安の悪さにつながっているのではないだろうか。



#### 禁止されていないことに対する判断

「規則で禁止されていないこと」について、関連する行為をしてよいか否かに関しては、一般日本人が最も慎重である。「やってもいい」という判断は日中の受刑者と一般中国人では16～17%で、概ね同じような結果が得られているが、こうした回答は一般日本人にはほとんどみられていない。日本人を受刑者と一般人で比較した場合、犯罪行為に対して歯止めが利くかどうかという違いにつながる示唆を含む結果といえる(図5)。



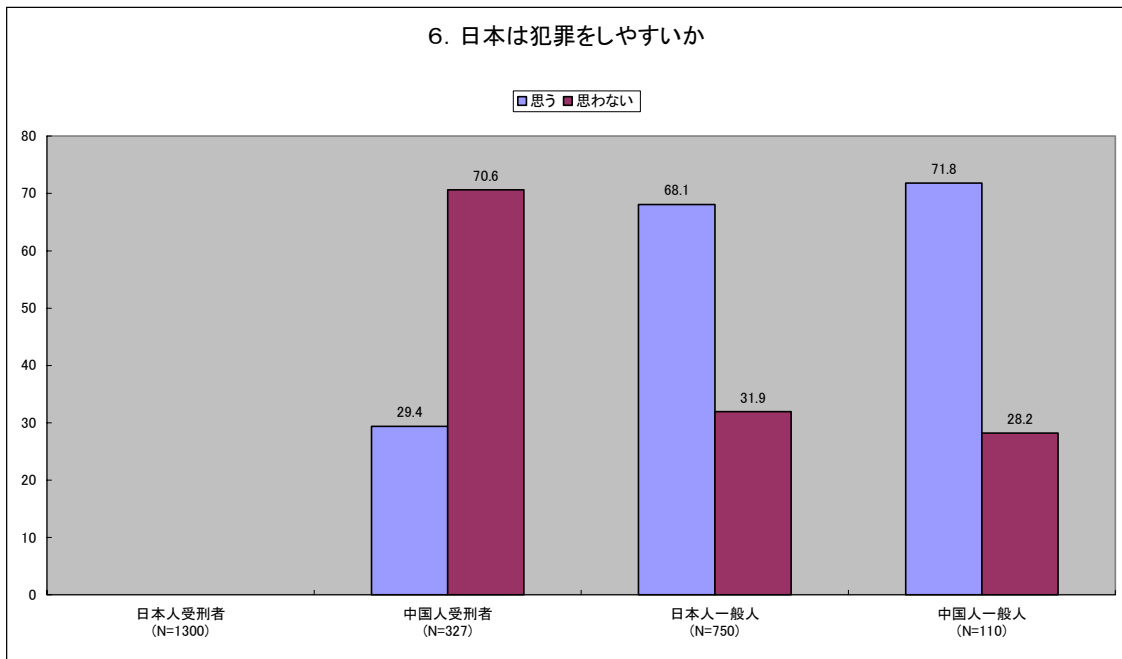


## 日本における犯罪と法執行機関の評価

次に、日本における犯罪のしやすさ、刑罰の重さ、外国人犯罪の増加予測、裁判の公正さ、刑務職員による暴行、警察官イメージなどに関する結果について述べる。こうした評価は犯罪者のリスク判断を構成する要素に関係するものと捉えることができるのではないかと考えている。

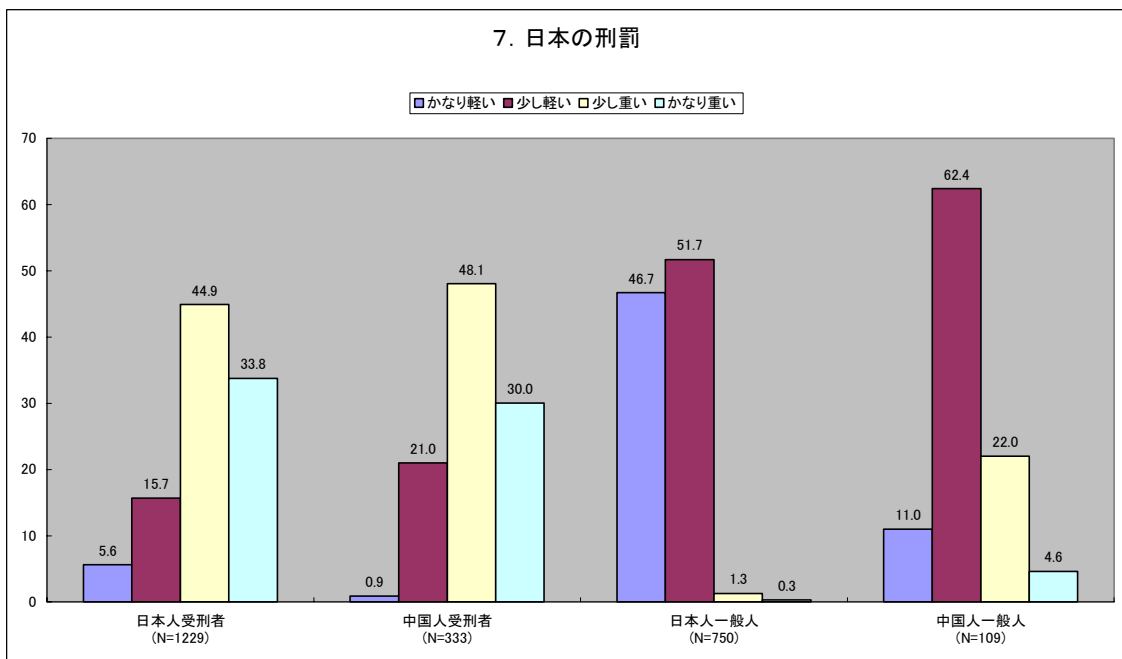
日本を犯罪のしやすい国とみるかどうかという項目については、日本人受刑者への調査には含まれていない。犯罪のしやすい国とみなせば、犯罪行為を誘発する一因ともなる。

結果によると、一般人は、日本人も中国人も、日本を犯罪のしやすい国と知っていることがわかる。他方、中国人受刑者は、現在服役中の身であり、いわば犯罪のしにくさを身をもって感じているのだから、7割強がしやすい国とは思っていない。問題は、3割の中国人受刑者が、日本を犯罪のしやすい国と捉えていることであって、治安対策に課題をのこしている(図6)。



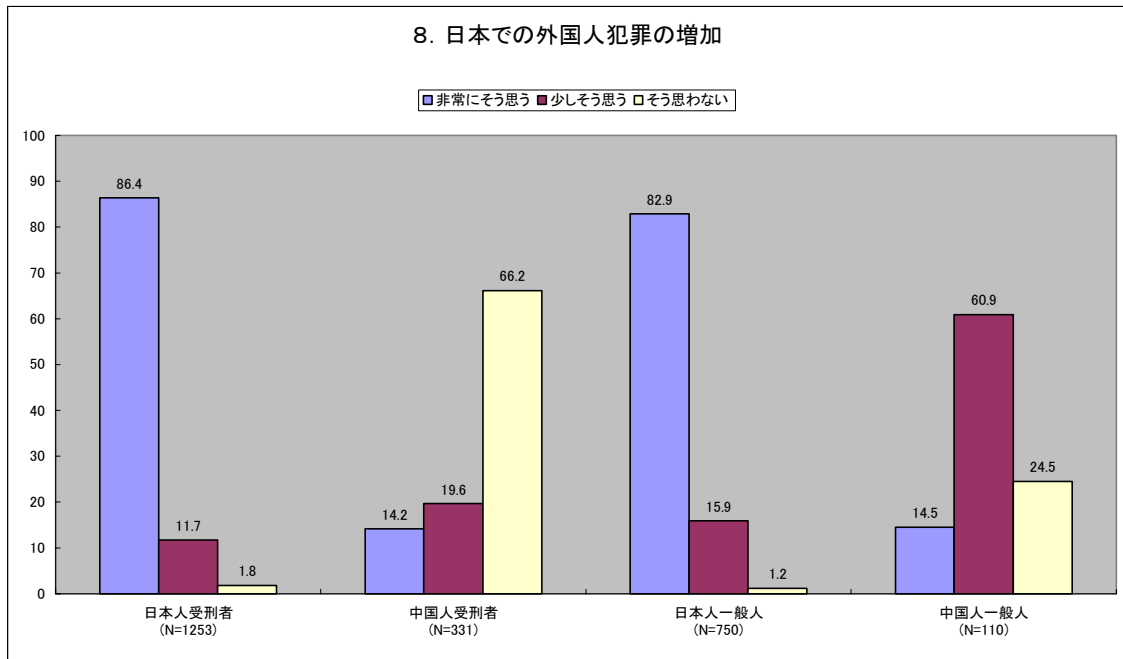
では、日本の刑罰はどのように捉えられているのだろうか。刑罰が重いと捉えられていれば、犯罪への抑止力として機能する可能性が考えられる。

結果は、受刑者と一般人の判断が大きく異なることを示している(図7)。つまり、一般人、特に日本人は日本の刑罰が「かなり軽い」と捉え、受刑者は「少し重い」が最も多く、次いで「重い」と捉えている。注目すべきは、日本人及び中国人受刑者の2割強が、日本の刑罰を「かなり軽い」あるいは「軽い」と捉えている点である。こうした受刑者のリスク判断は、甘いものになる傾向が予想できる。



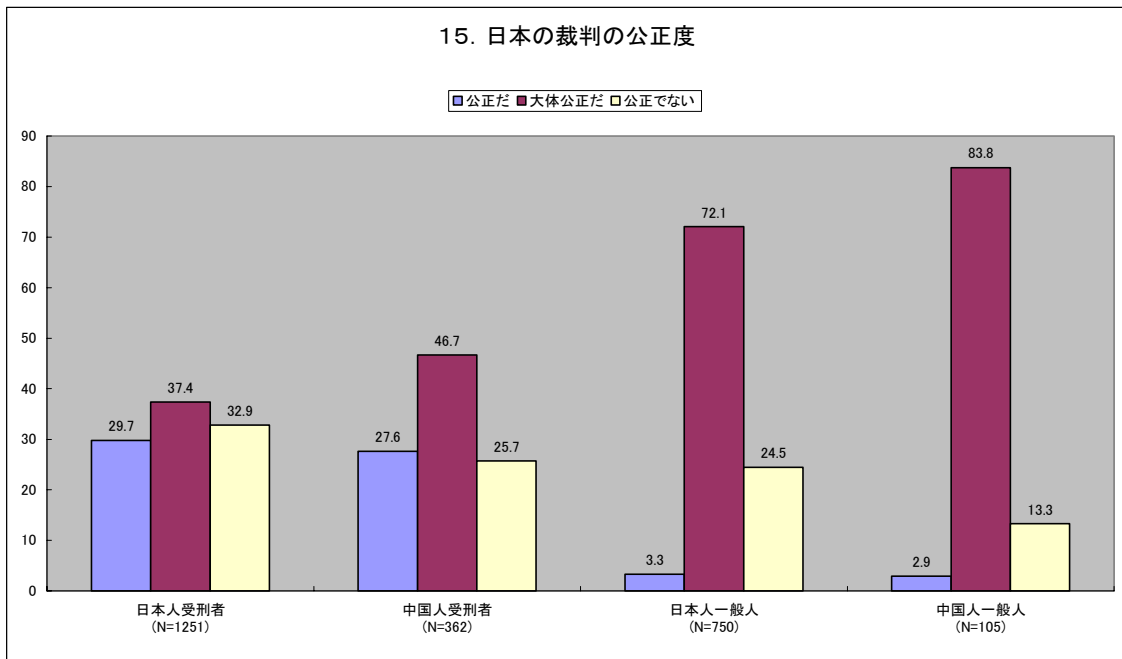
日本における外国人犯罪の増加傾向はどうみられているのか。

この点に関しては、日本人と中国人との差が大きい。日本人は受刑者も一般人も全く同じように、今後外国人犯罪が増えると認識している。一方、中国人は、一般人で「少し思う」という回答が過半数を超えているが、受刑者は否定的回答が多い。しかし、中国人受刑者の3割強が肯定的予測をたてていることは看過できない(図8)。

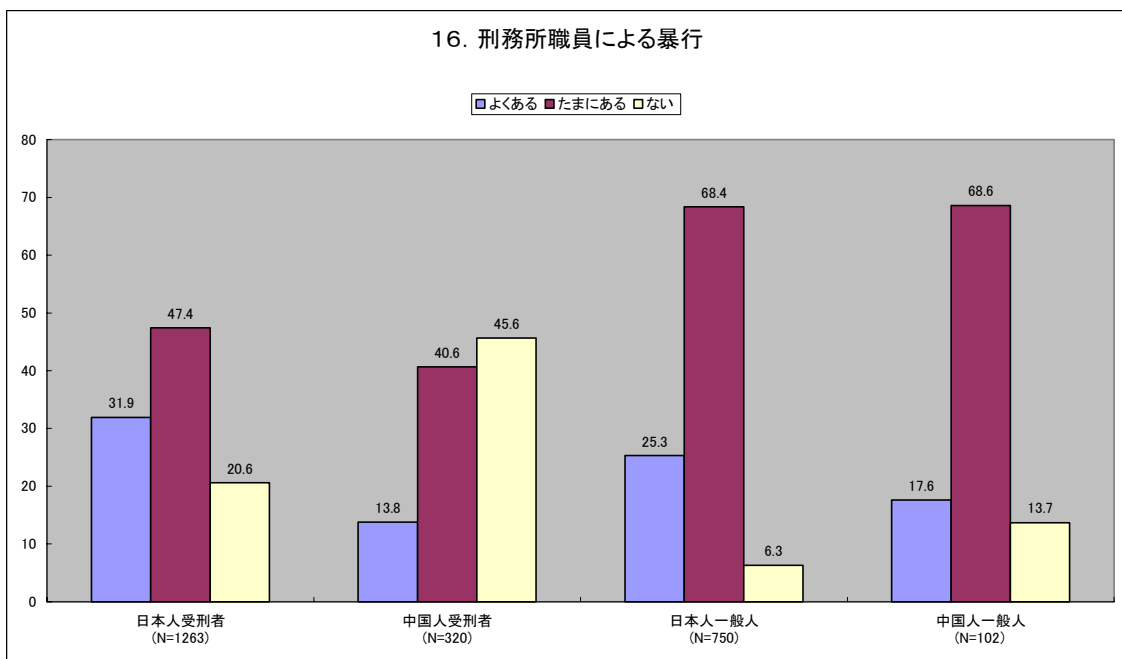


では、日本の裁判はどのように捉えられているのであろうか。

次の図15から明らかなように、実際に裁判を経験した受刑者のほうが、単にイメージに基づいて判断している一般人に比べ、日本の裁判は公正だと捉えているという結果になった。しかし、受刑者のなかには、「公正」という判断をするものと同程度に「公正でない」と思っているものもいることは見過ごしにできない。

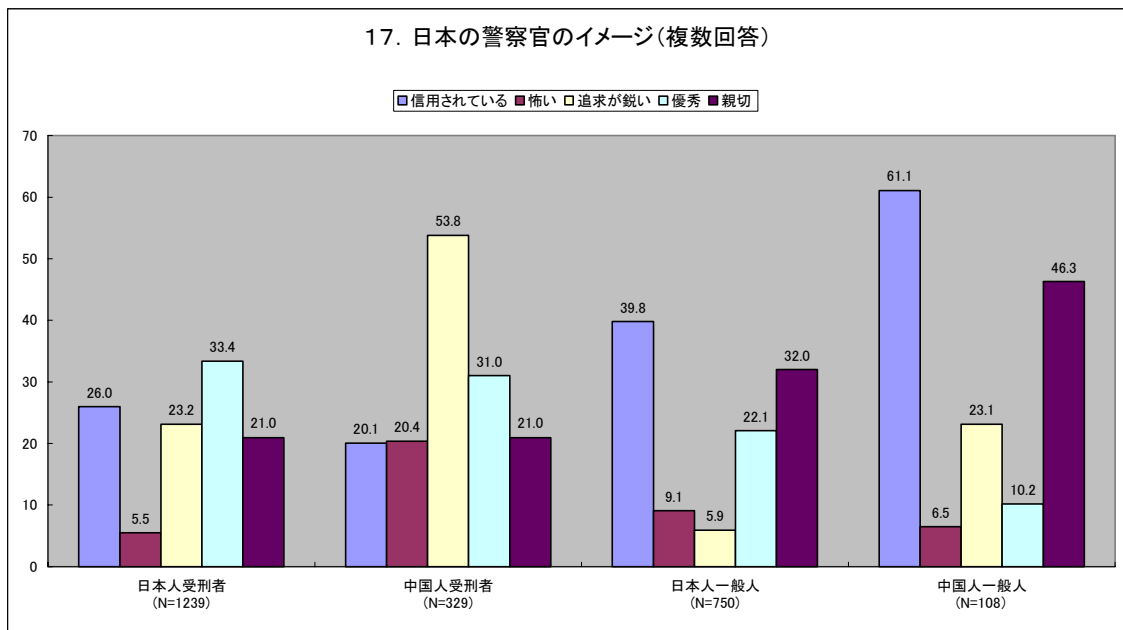


## 刑務所職員による暴行



刑務所職員による暴行についても、刑務所生活の体験者である受刑者のほうが、「ない」と否定する回答が一般人に比べて多い。特に中国人受刑者に多くなっているのは、本国の事情と比較している所為なのであろうか。一般人は、日中両群とも「たまにある」という回答が7割弱に達するが、日本人受刑者の3割は「よくある」としている(図16)。

## 日本の警察官のイメージ



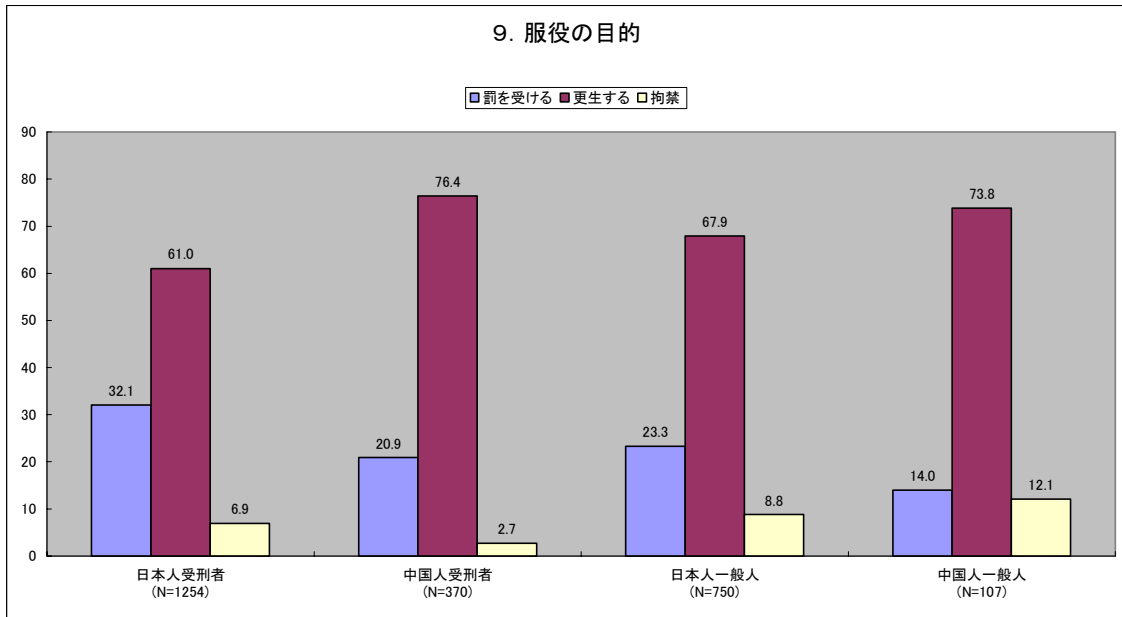
日本の警察官のイメージに関する結果のうち、主なものを示したのが上の図17である。まず、一般中国人による日本人警官の評判は、一般日本人よりもずっと良く、6割が「信用されている」と捉え、日本人よりも20ポイントも高いという結果になっている。また、「親切」という評価も46%と日本人の32%よりもかなり高い。

日中受刑者の3割は「優秀」と判断し、中国人受刑者の54%は「追及が鋭い」としているのは体験に基づく判断であろう。また、日本人受刑者が「怖い」と思っていないのに対し、中国人受刑者は「怖い」とみなす傾向がある。また、日中受刑者ともにその2割が「親切」と捉えていることから、日本の警察官のイメージは全般的に悪くないといえる。

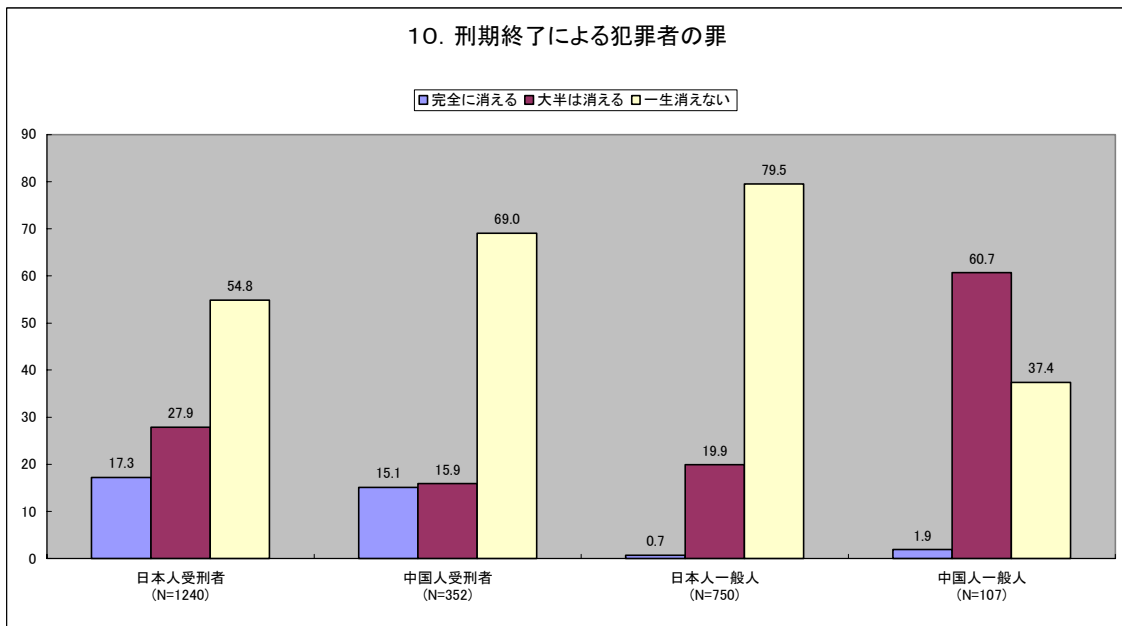
## 服役目的と刑期終了時の罪の意識

まず、罪を犯した人が服役をする目的をどのように理解しているのだろうか。理解の仕方によっては、更生につながることも期待できるが、反対に、再犯につながる恐れも少なくないと考えられる。

結果は図9の通り、どの集団でも更生することを服役目的と捉える人が多い。しかし、日本人受刑者の3割、中国人受刑者と一般日本人の2割は「罰をうけること」が服役の目的と捉えている。こうした受刑者は、服役が更生につながらないことが心配される。



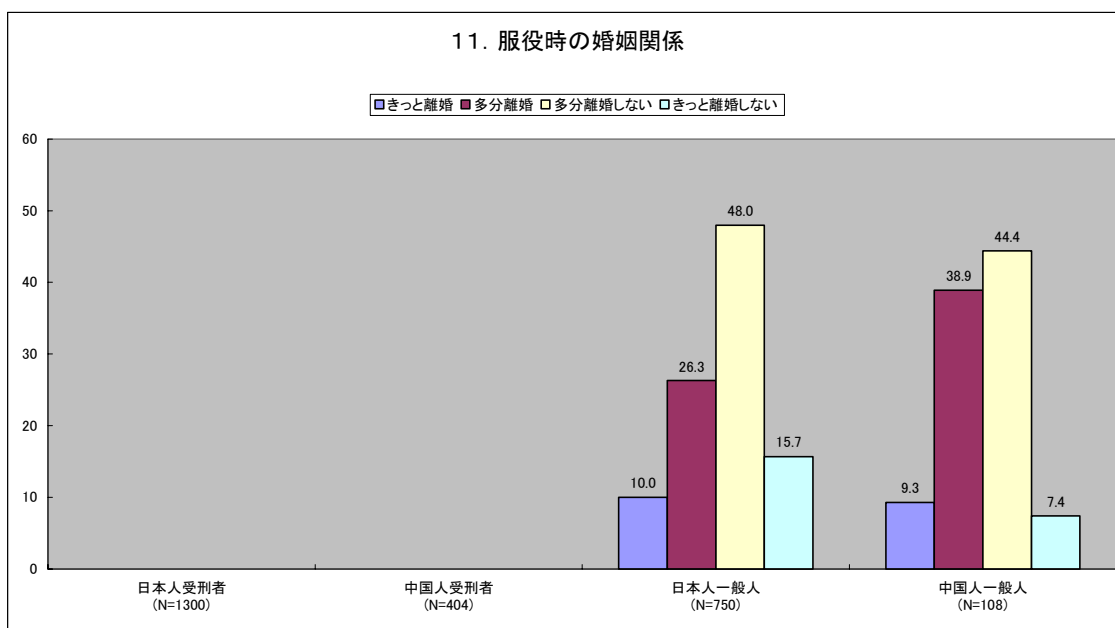
## 刑期終了と罪



日本人のなかに、罪を犯すとそれは一生消えないという伝統的な考え方が未だに残っているようで、一般日本人の8割近くが、「刑期を終えても罪は一生消えない」と回答している。日本人受刑者でも傾向は同じだが、「一生消えない」と思っている者は回答者の55%に留まっている。こうした考えが最も少ないのは一般中国人で、彼らの6割は刑期終了により罪の大半は消えると考えており、罪悪感に抑止力を期待していないようだ。

## 服役と婚姻関係

受刑者調査では彼らの婚姻状況を尋ねている。日本人受刑者の場合、離婚した者が受刑者の43%と群を抜いて多く、離婚と服役のいずれが先かはわからないが、家族から排除される犯罪者の姿が浮かびあがる。他方、中国人受刑者の場合、離婚したものは1割強に過ぎない。



一般人対象の質問では、配偶者が服役した場合に離婚するか、しないかを訊ねている。結果は図11のように、「離婚する」と断定的に予測するものが日本人でも中国人でも約1割、「多分離婚する」を合わせると、日本人の36%、中国人の48%という結果になり、受刑者の実態とは必ずしも一致していない。実際に犯罪者を家族に抱えた場合には問題も多く、特に日本では世間の目の冷たさに、離婚に至るケースが多いのではないだろうか。

## 犯行理由の推定

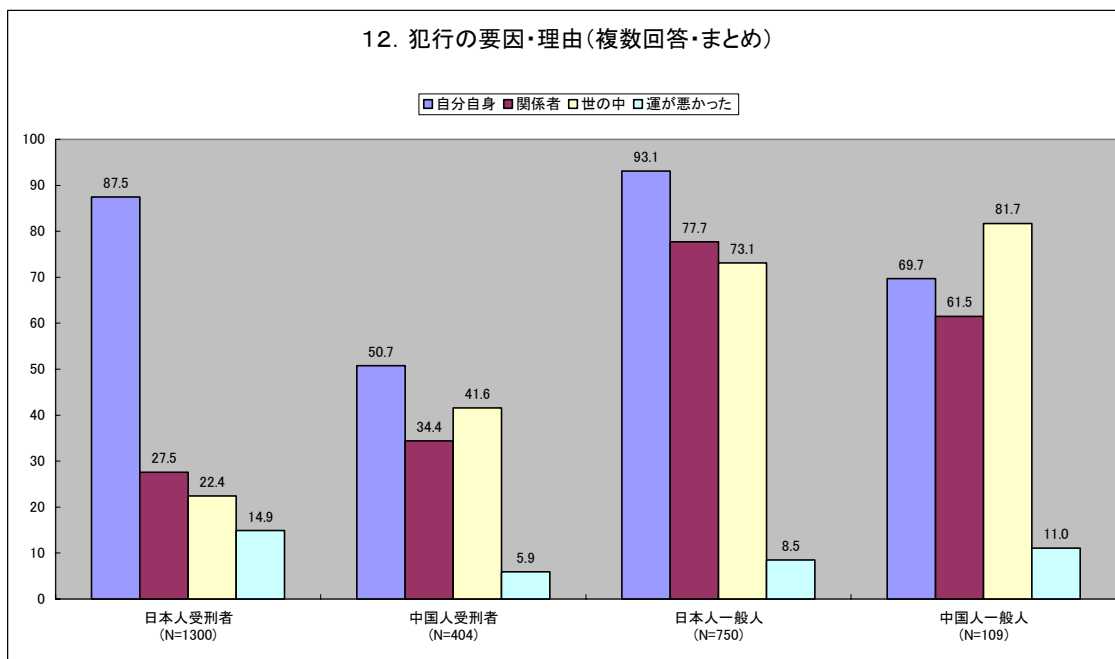
犯罪行為の責任をどう捉えるか。多くの選択肢に対する複数回答のうち、主なものをまとめたのが次の図12である。

日本人受刑者は一般日本人に劣らず犯罪行為の理由は「自分自身」にあると考えており、親や勤め先などといった「関係者」や、「世の中」、「運が悪かった」など、自分以外に責任を負わせる傾向は少ない。

中国人受刑者の場合、なぜ犯行におよんだのかという明白な自覚や理解の乏しさを窺わせるような結果になっている。

上記の結果は受刑者につかまった理由を訊ねた結果と整合している。日本人受刑者は「自分の計画ミス」と自分に責任があるとするものが23%に対し、中国人は10%と少ない。

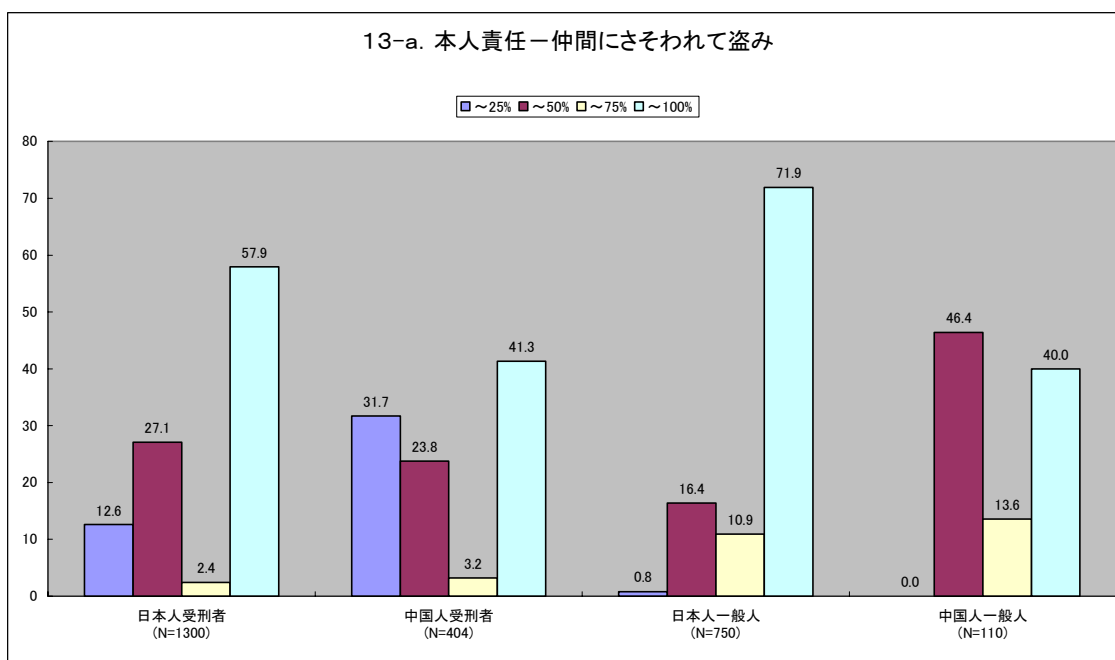
一般人は、日中ともに「運」を除く多数の理由を想定している。



### 窃盗行為における責任帰属

次の4項目は、「仲間に誘われて」「仲間を誘って」「出来心から」「生活苦から」盗みをはたらいた、という4つのケースについて、それぞれの行為者の責任の重さを問うている。

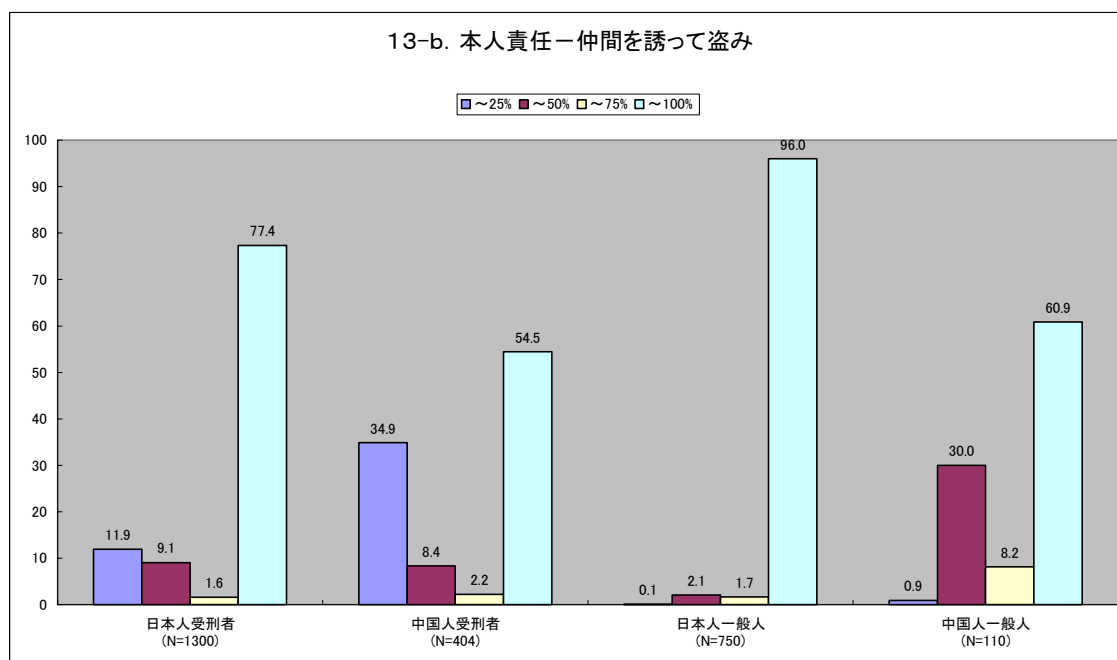
#### A. 仲間に誘われて





受身の行為であっても、一般日本人の場合は7割強が、また日本人受刑者の6割弱が、76～100%の責任があると行為者自身の責任を厳しく判断している。しかし、中国人の場合は、厳しく判断するものは4割で、中国人受刑者では3割強が行為者の責任を25%以下とし、一般人の場合でも46%が責任を50%以下としている。

## B. 仲間を誘って

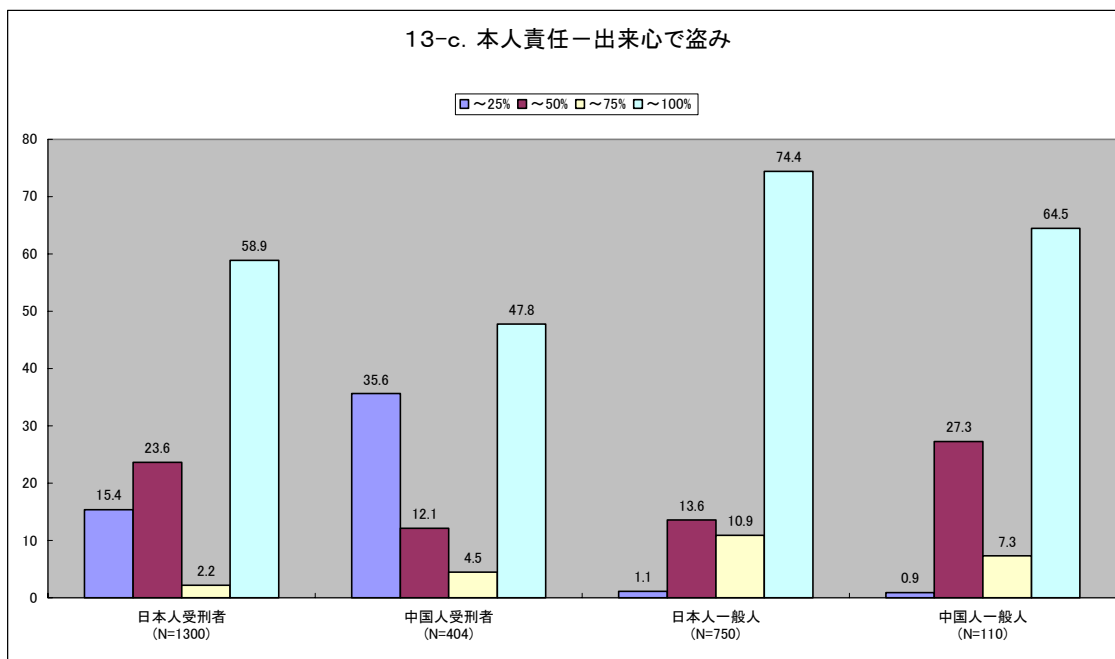


仲間を誘うという積極的な役割をして盗みを働いた場合、受身の場合に比べて責任が一段と重く捉えられている。一般日本人では回答者の大半が76%以上の責任が行為者にあるとし、受刑者についてもその77%が76%以上の行為者責任を認めている。しかし、各群による責任の重さの捉え方に見られる回答パターンの差は、「誘われた」という受身の場合とあまり変わらない結果になった。

次の「出来心」と「生活苦」を含めて全体をみると、同じ盗みという行為であっても、自分から仲間をさそうという能動的な場合に最も責任が重いと判断され、次いで「出来心」、そして受身の「誘われた」場合となり、最も責任が少ないと判断されたのが「生活苦」からの盗みである。

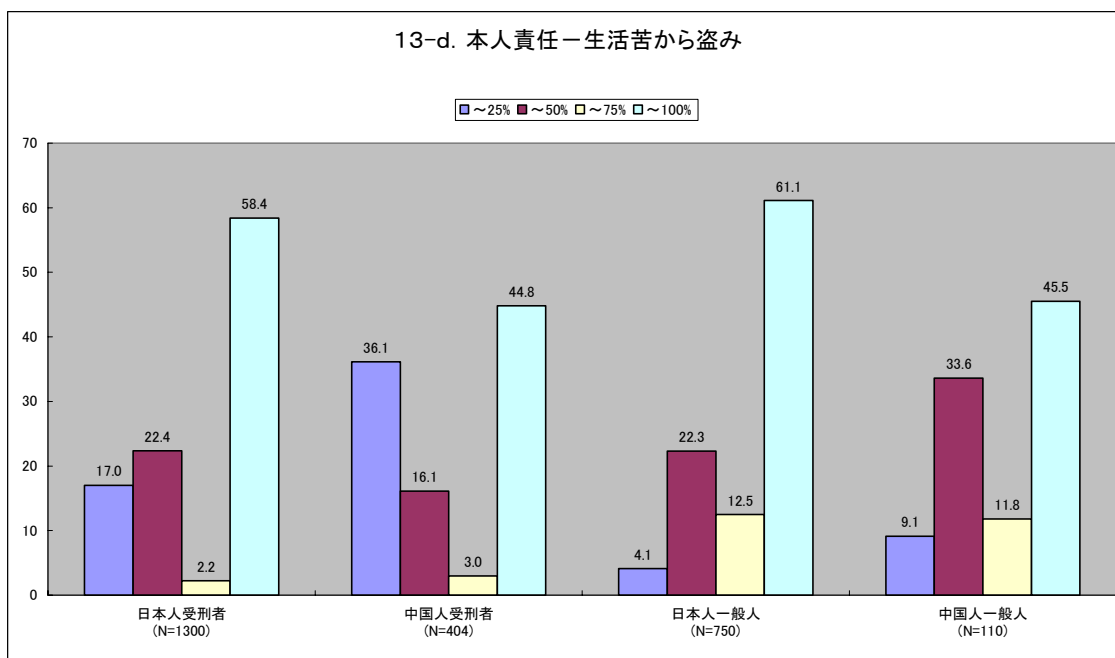
全体を通してみても、一貫して一般日本人の責任判断が最も厳しく、次いで日本人受刑者、一般中国人、最後に中国人受刑者の判断となっている(図13a-d)。

### C. 出来心から盗み



### D. 生活苦から盗み

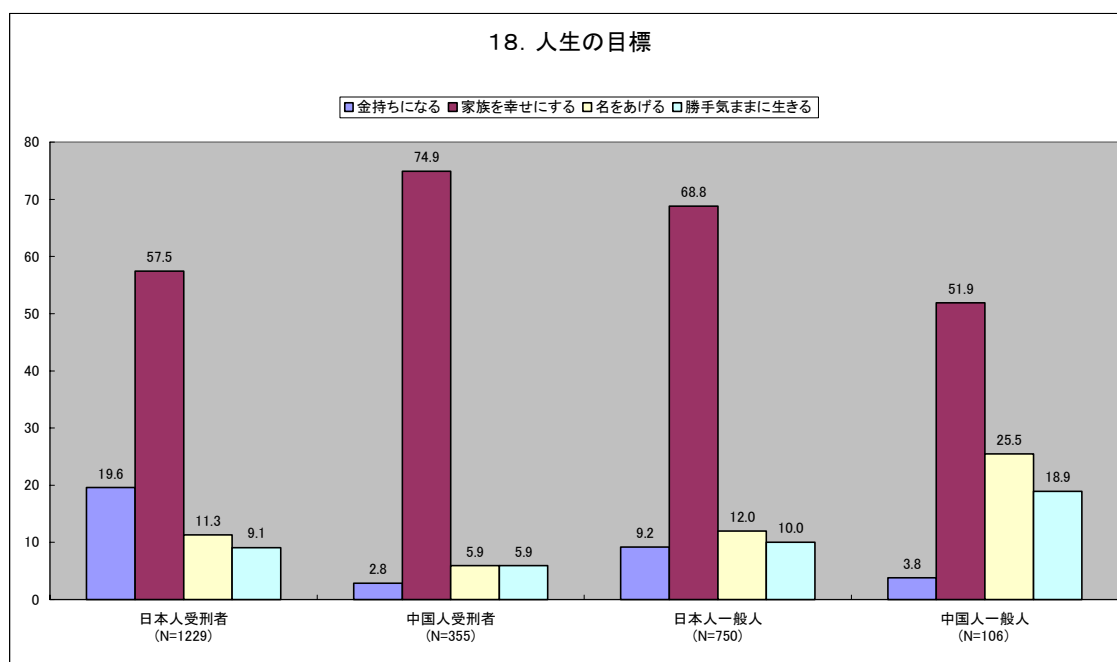
生活苦からの盗みの場合、中国人受刑者には同一視する者が少なくないのか、同情的反応が他の群よりも多くみられる。



## 社会観・価値観

社会観・価値観は、人生目標、不公平感、努力、正直、運、信頼感、スキあれば利用、運とチャンス、欲求の即時化、手荒な行為、安全とチャンス、お金の力、大切なものなど、14項目が用いられた。ここでは、幸せな人に対する妬み以外の項目について結果を示す。

### 最も達成したい人生目標

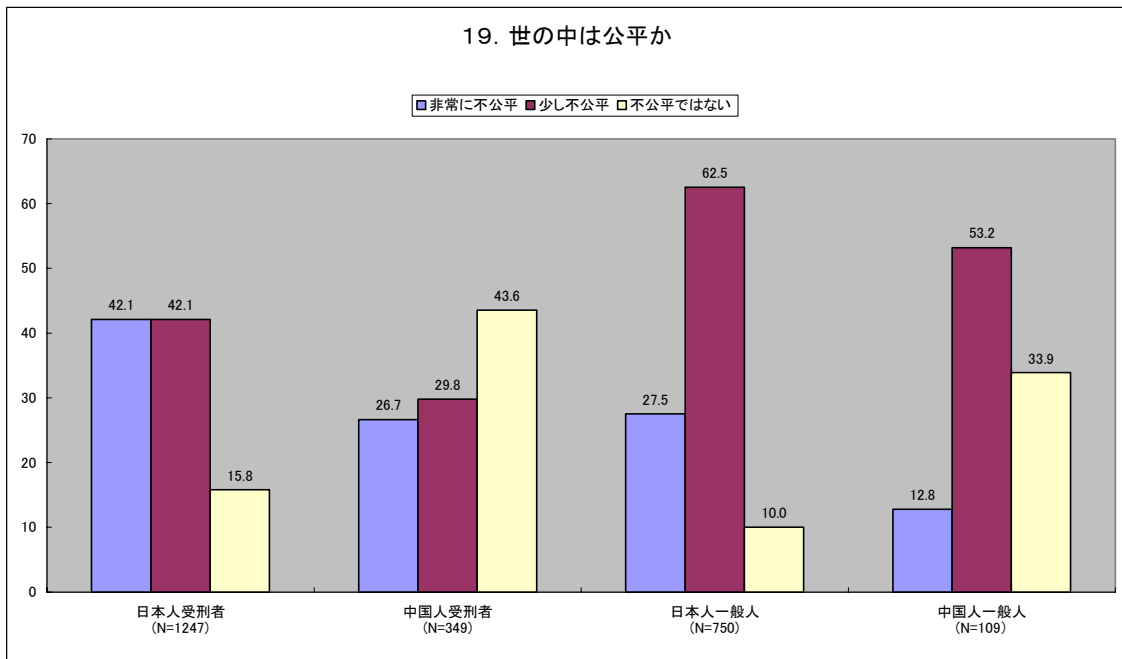


各群とも「家族を幸せにする」ことが最大の人生目標であるとしているが、中国人受刑者と一般日本人については、その傾向が特に強い。日本人同士でも、一般人と受刑者では10ポイントの差がある。一般人では、日本でも中国でも女性の方が男性より明らかに家族思いである。受刑者では「金持ちになる」が約2割と、一般人とは10ポイントの開きがある。

中国人同士では受刑者の家族思いが目立ち、一般中国人では「名をあげる」や「勝手気ままに生きる」が他のどの群よりも多いことが気になるが、一般中国人には若い女性が多いことが関係しているのかもしれない(図18)。

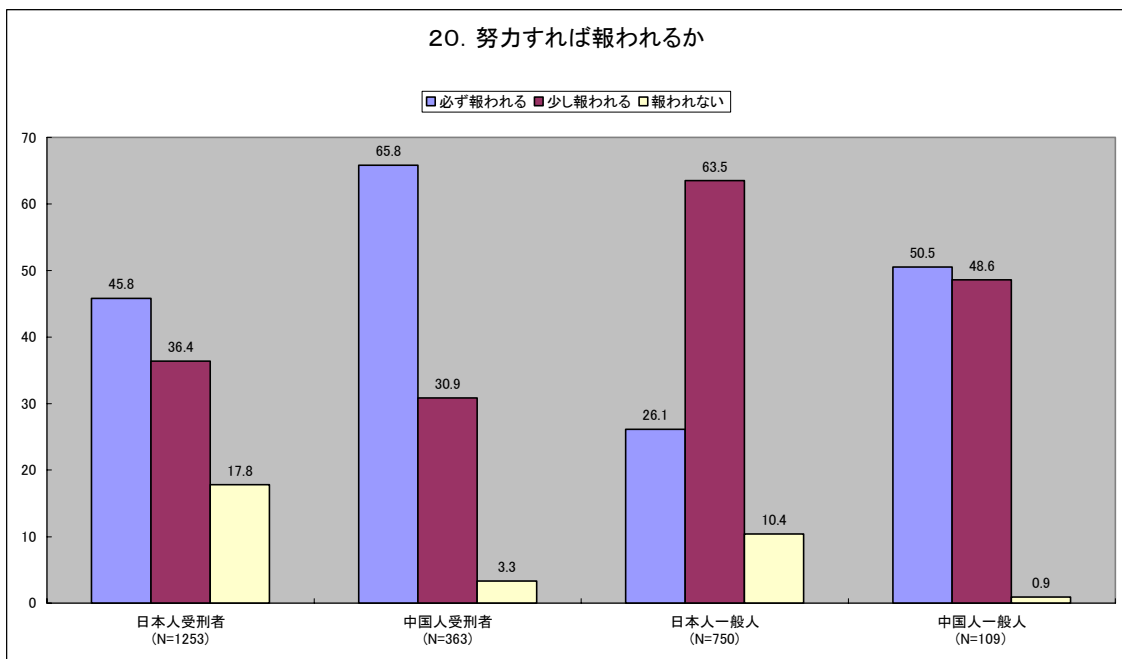
### 世の中に対する公平感

日本人も中国人も、受刑者は一般人よりも非常に強い不公平感がある傾向がみとめられる。日本人と中国人を比較すると、世の中は不公平ではないと捉える点で大きな差があり、日本人の不公平感に対し、中国人の楽天的な見方が際立っている(図19)。犯罪の原因は自分にあるとする一方、日本人の不公平感が強いことは、何に起因しているのだろうか。

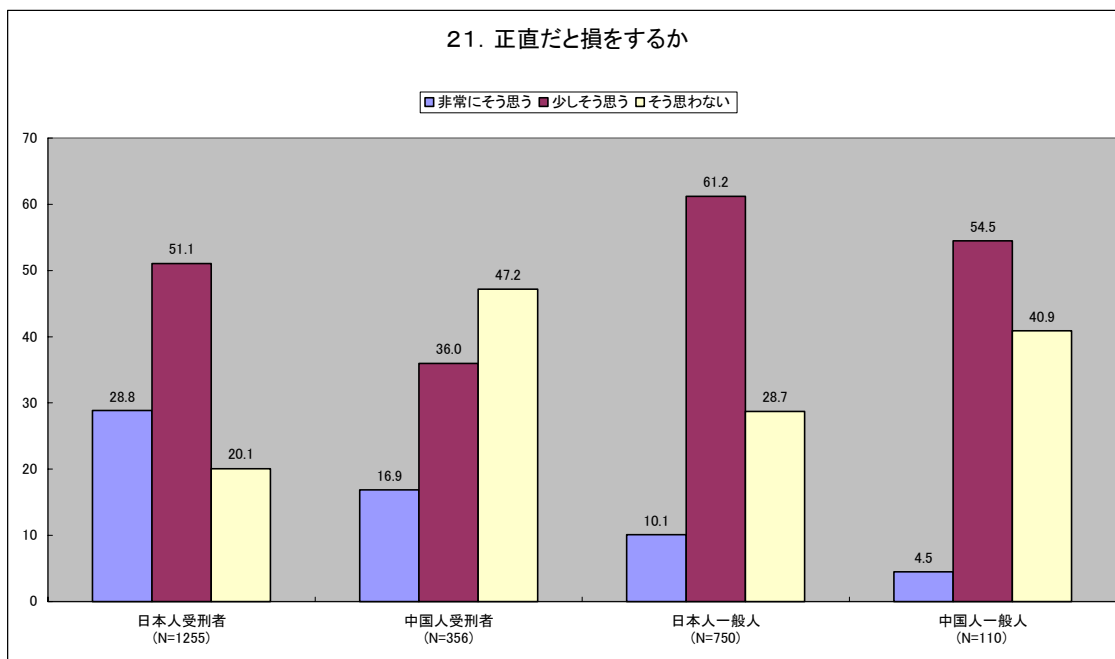


#### 努力すれば報われるか

図20に示すように、真面目に努力すれば報われるか否かについても、上述の不公平感に近い結果となった。つまり、中国人の楽天的な考え方に対して、日本人、特に受刑者は努力しても報われないという悲観的な見方をしている。好奇心をそそられるのは、受刑者を含め、中国人の努力の結果に対する前向きな姿勢で、受刑者の7割弱、一般人の5割が努力をすれば、必ず報われると考えている。今日中国が高度成長期にあることが関係しているのかもしれない。

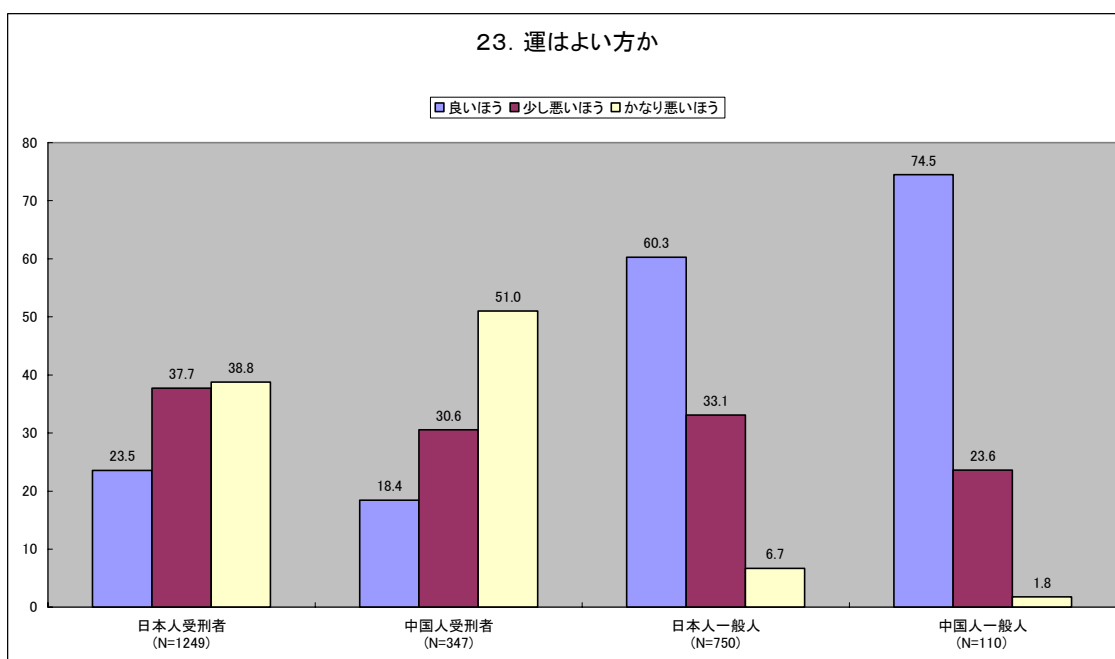


## 正直だと損をするか



ここでも、中国人の方が正直だと損をするとは思っていない。そのように考える傾向が最も強いのが中国人受刑者であり、次いで一般中国人となっている。他方、正直だと損をすると考えられる日本人の特徴は、受刑者で特に高いことである(図21)。受刑者たちが一般人よりも正直だと損をすると思っている理由は定かではない。

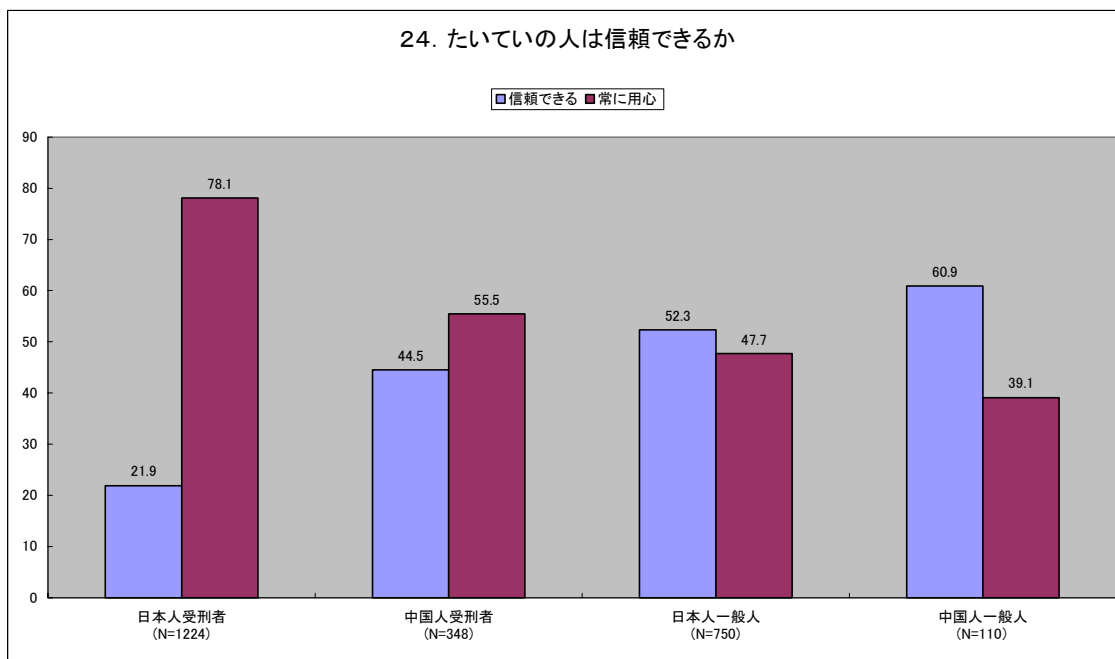
## 運はよい方か



この項目に関しては、受刑者と一般人の間に明らかに差があり、受刑者は運がかなり悪

い方だと思っており、一般人は良い方だと思っている。一般人の間では男性よりも女性の方が運が良いと思っている。

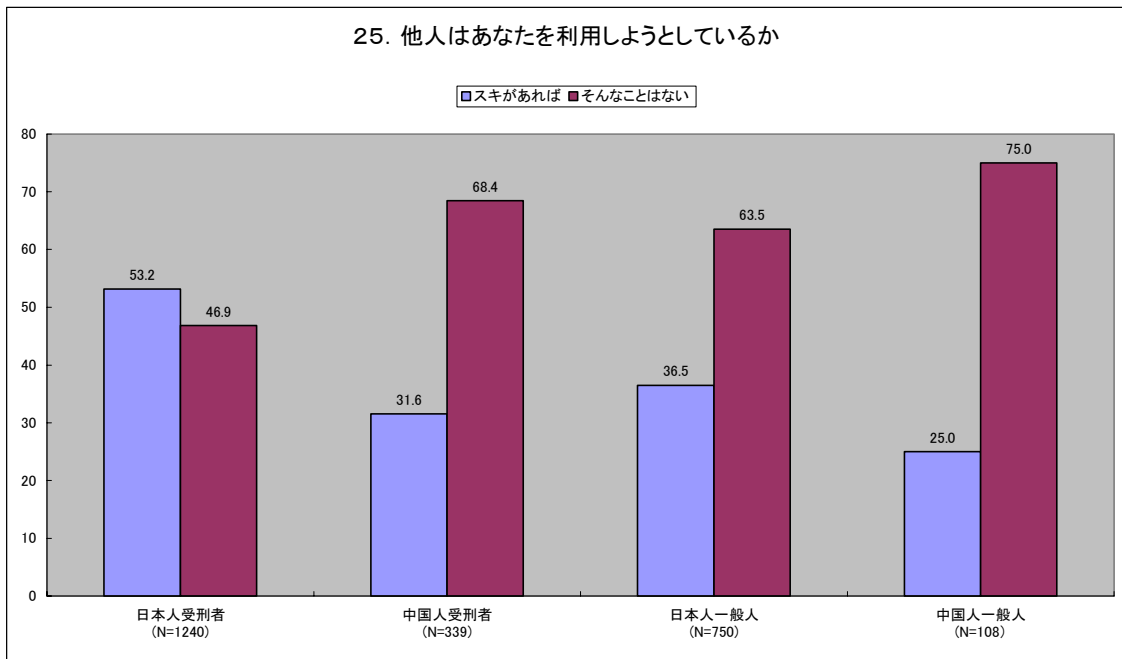
#### 人は信頼できるか



まず、一般人に比べて受刑者の方が対人不信感が強いが、特に日本人受刑者の不信感の強さは際立っている(図24)。日本では、安心・安全な社会の回復がいわれるが、その基本にはひとに対する信頼感が必要であろう。つまり、相手が精神的あるいは肉体的に危害を加える恐れがあると思えば、襲われる前に、あるいは騙される前に相手を攻撃することにつながりかねない。従って、対人的な犯罪行為は、相手に対する不信感の結果ということもできるかもしれない。

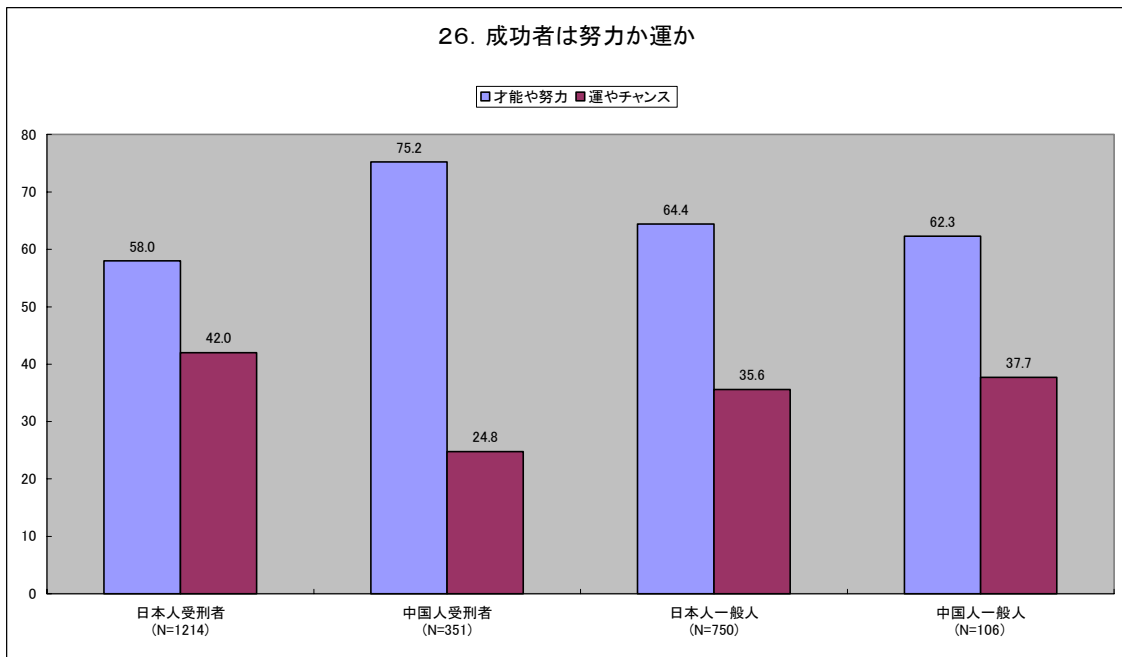
#### 他人はスキがあれば利用しようとしている

信頼感に対する結果と同様、ここでも中国人に比べて日本人、とりわけ日本人受刑者の対人不信が際立っている。一般人については、日中両群共に女性の方が他人に対する信頼感が強い(図25)。

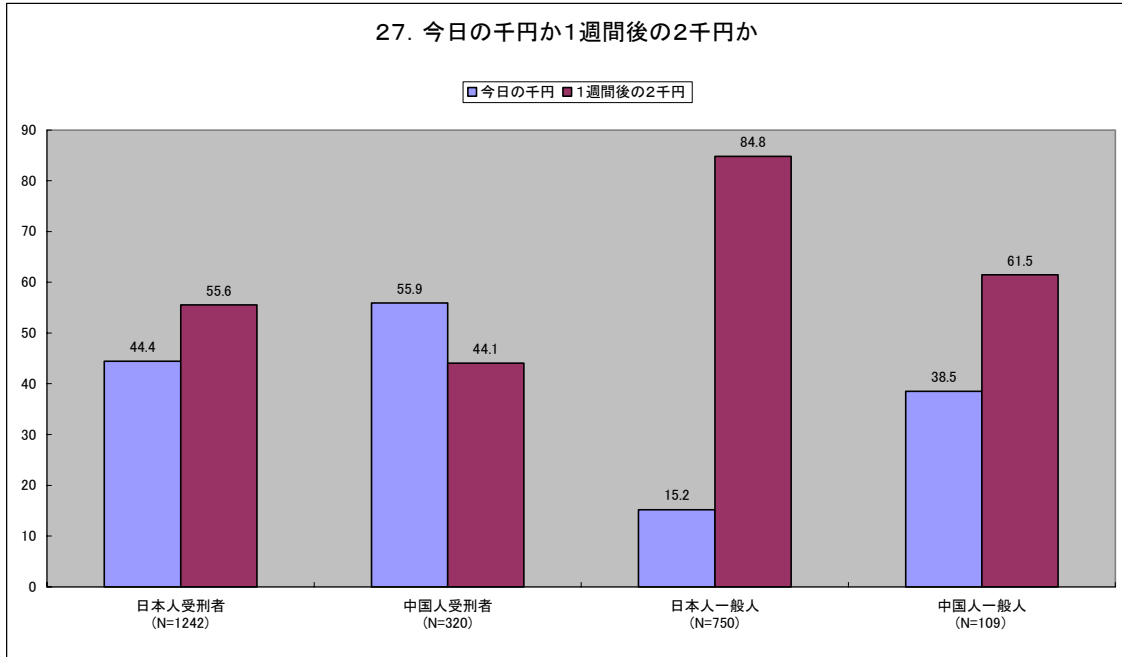


#### 成功の原因は努力か運か

どの群でも、成功するのは運やチャンスよりも才能や努力のせいものだと考える者が多いなかで、運やチャンスと回答した割合が最も高いのが日本人受刑者である。日本人受刑者には努力しても報われないと考える傾向が他の群より強いことを既に述べたが、そうした結果とも整合している。



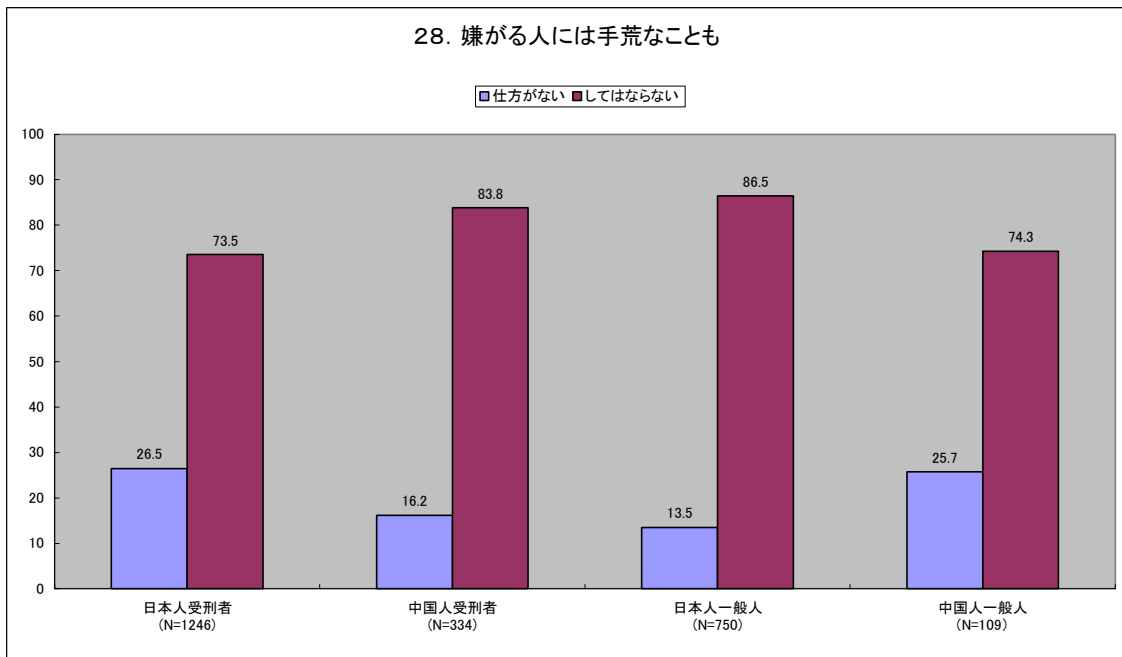
## 欲求の即時化



欲しいものがあつたら我慢ができず直ぐに手に入れたいと考える傾向と、犯罪行為への抑止力が働かないこととは関係があるという仮説にたつて考案したのがこの項目である。

結果は上の図27に示すとおり、受刑者の欲求即時化傾向が明白になった。更生にむけた教育訓練プログラムには、欲求があつてもそれを合法的に入手できる条件が整うまで欲望を抑えることができることを目指すものが必要であることを示唆している。

## 手荒なこと





嫌がる人には手荒なことをしてもよいかという問に対する回答では、日本人受刑者と一般中国人に「仕方がない」と暴力肯定をするものが、回答者の4人にひとりに達した。日本人受刑者には傷害罪で服役中の者も少なくないことから、このような甘い結果になったことが想像できるが、一般中国人の結果の説明は明らかではない。

チャンスのある人生か、チャンスのない人生か

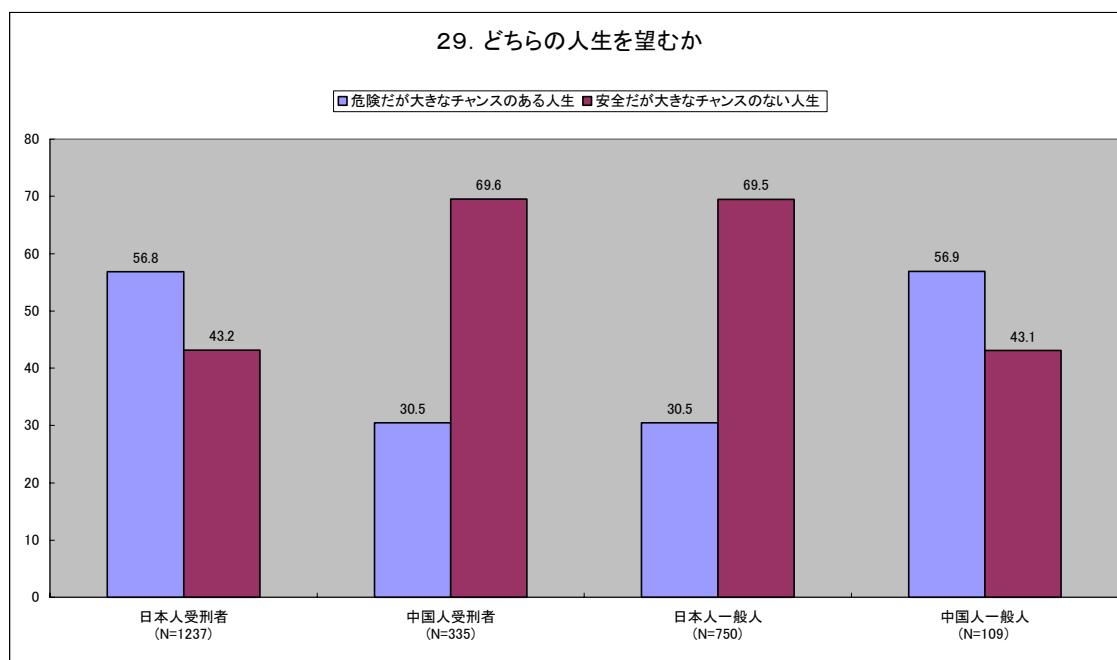
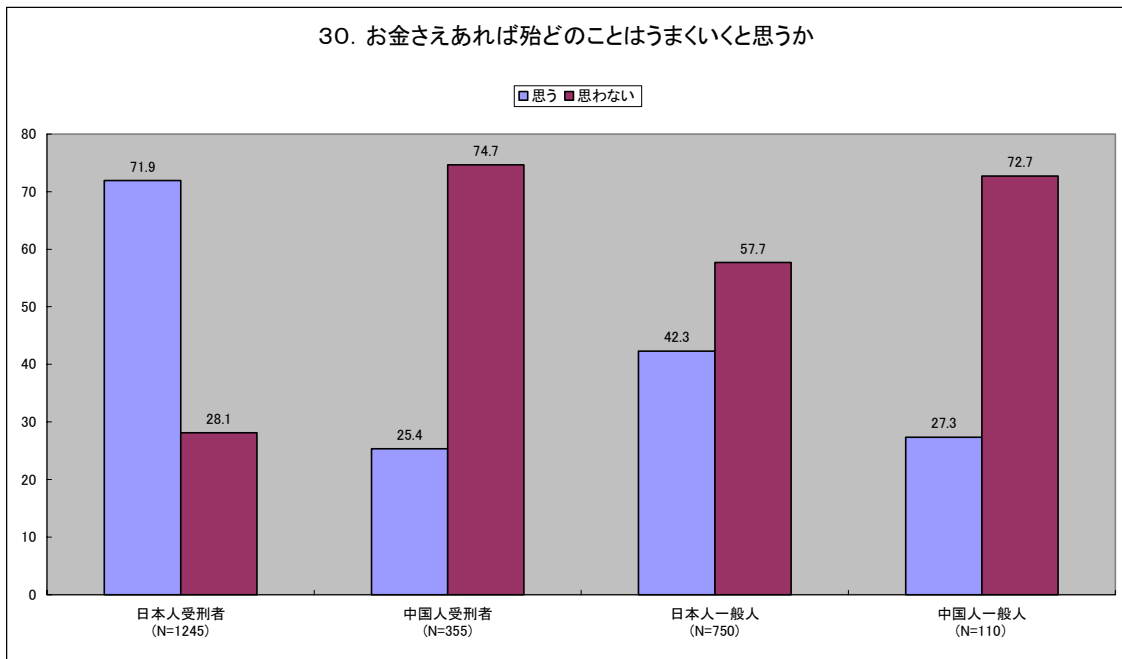


図29の通り、日本人受刑者と一般中国人、中国人受刑者と一般日本人の回答が極めて似通っている。即ち、日本人受刑者と一般中国人に、危険だが大きなチャンスのある人生を望むというギャンブル志向性が見られる結果になった。日本人受刑者は服役経験からあまり学習しないということなのだろうか。一般中国人は、その来日動機が、チャンスの大い今日の中国の状況を背景に、成功を手に入れるために日本にきているのかもしれない。

### 金の力

中国人受刑者と一般中国人の結果は極めて類似しており、お金の力を否定する傾向が7割強と強い。ところが、日本人受刑者の結果はその逆で、お金の力を肯定する回答が7割強である。一般日本人も肯定する回答の方が多いが、否定との差は小さい(図30)。

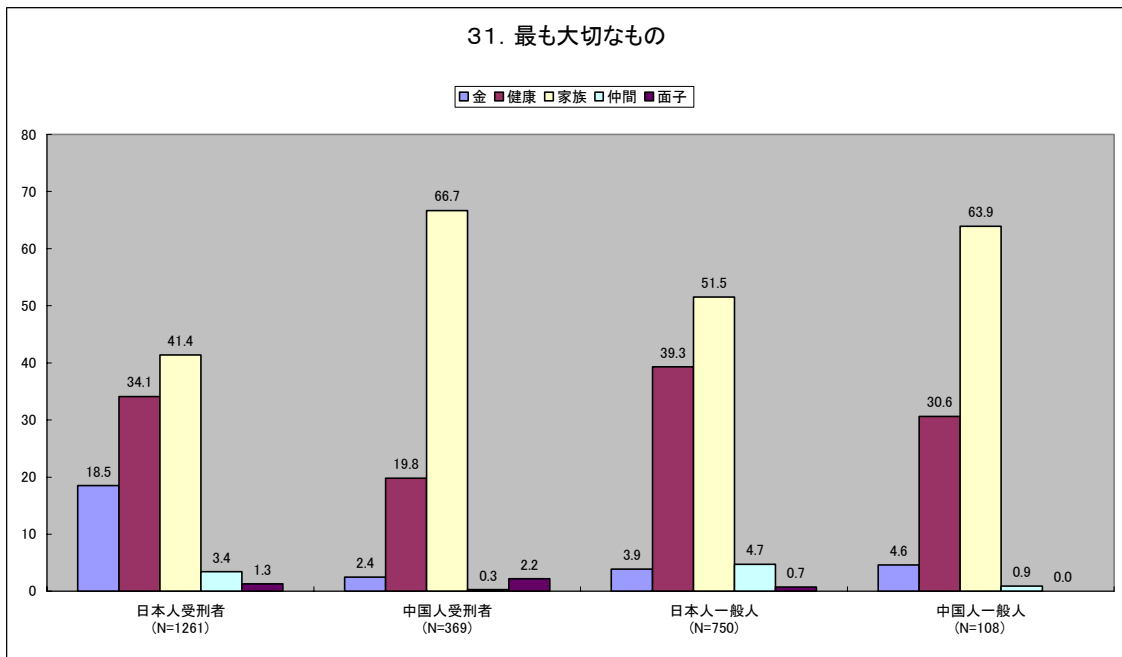
犯行時にお金に非常に困っていたのは、中国人受刑者で58%、日本人受刑者は半分の26%に過ぎない。また、不法残留の中国人受刑者の残留理由は借金返済が59%と借金をかかえ、お金に困っている中国人受刑者よりも、困っていない日本人受刑者の方がお金のさえばれば殆どどのことがうまくいくとは思っている。問題なのは、こうした日本人受刑者の押金傾向であろう。家族からも見放され、結局頼れるのはお金だけと思っているのかもしれない。



それは、次の「最も大切なもの」を訊ねる問への回答からも窺うことができる(図 3 1)。

#### 最も大切なもの

中国人、とくに受刑者では「家族」が最も大切という回答が極めて多い。一般日本人は、「家族」に次いで自分の「健康」が最も大切だと捉えている。一方、日本人受刑者は、家族を挙げる者が4割しかいないことと、「金」を挙げる者が他の群よりもずっと多いという特徴がある。

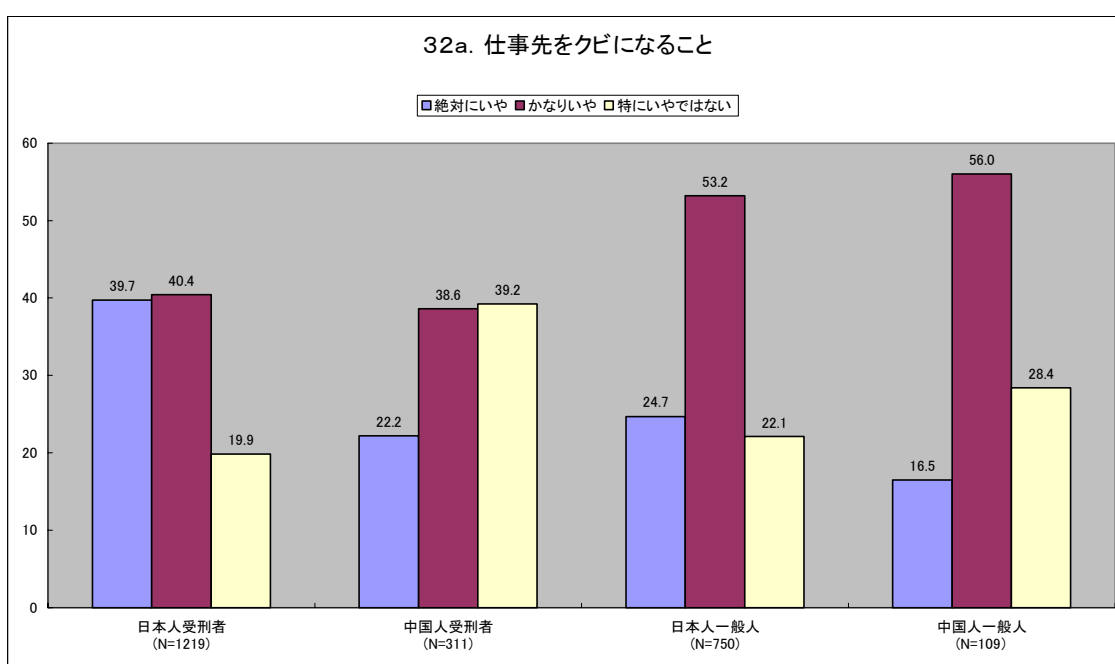


## 他者による行為に対する嫌悪感

「仕事をクビになる」「仲間から追放される」「家族に捨てられる」「信用を失う」「失敗者の烙印を押される」「馬鹿にされる」「体に傷つけられる」「家族の期待を裏切る」という8つの間によって、これらの行為がどのくらい嫌なことかを訊ねた。

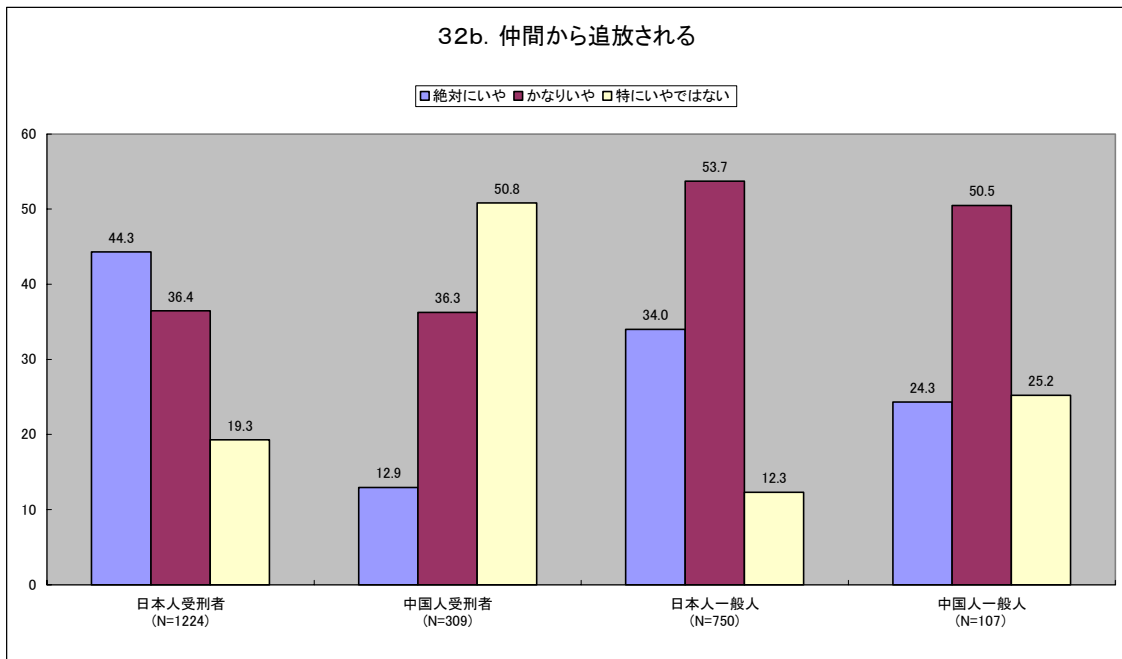
### 仕事をクビになること

クビになることは、中国人より日本人にとってより嫌なことと受け止められている(図3 2 a)。とくに日本人受刑者にとっては、嫌だという思いが強いようだ。プライドを傷つけられること、あるいは日本の就職状況からこのように受け止めているのかもしれない。

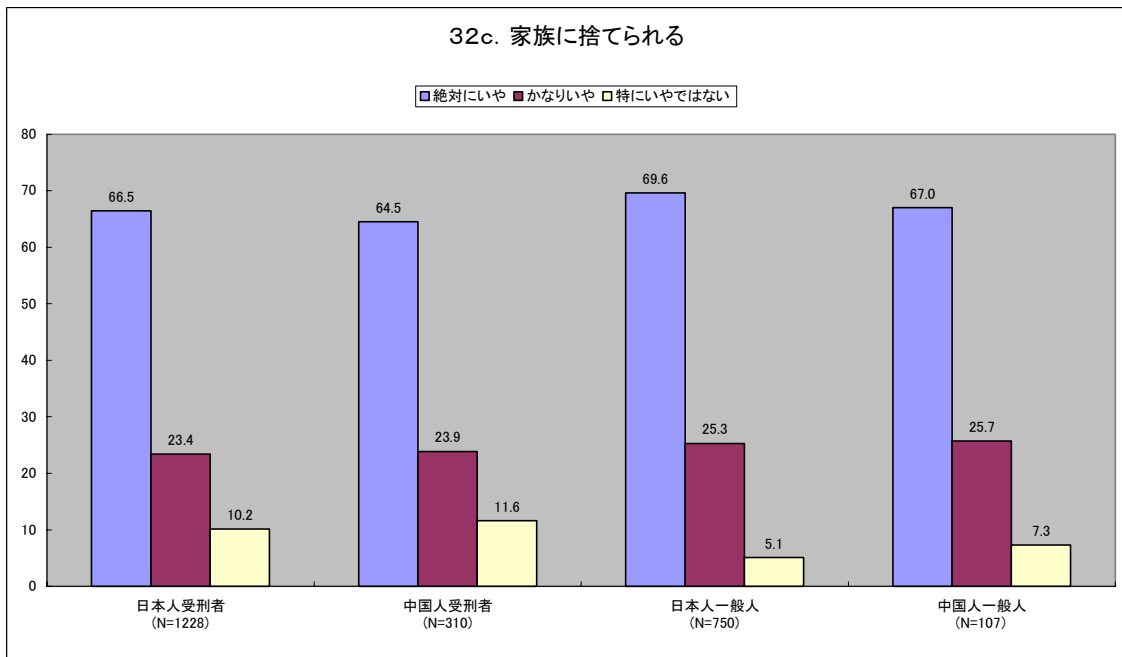


### 仲間から追放される

日本人と中国人の間に大きな差がみられ、日本人の嫌悪感が強く示された。特に、暴力団関係者が少なからず含まれる日本人受刑者にとっては深刻な問題のようだ(図3 2 b)。



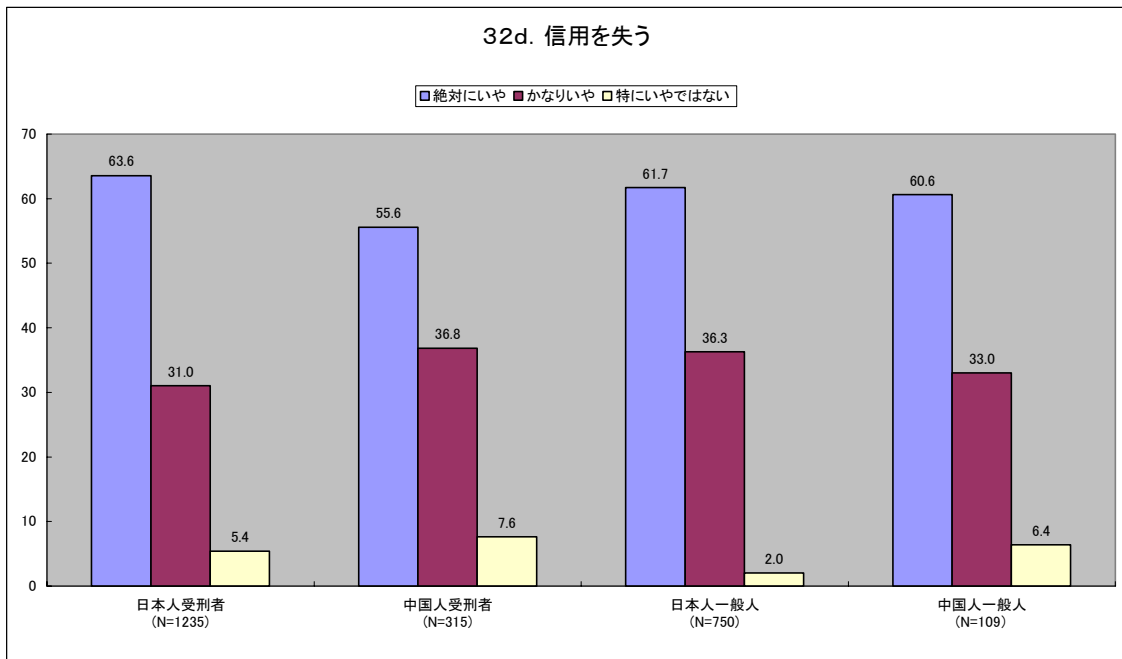
### 家族に捨てられる



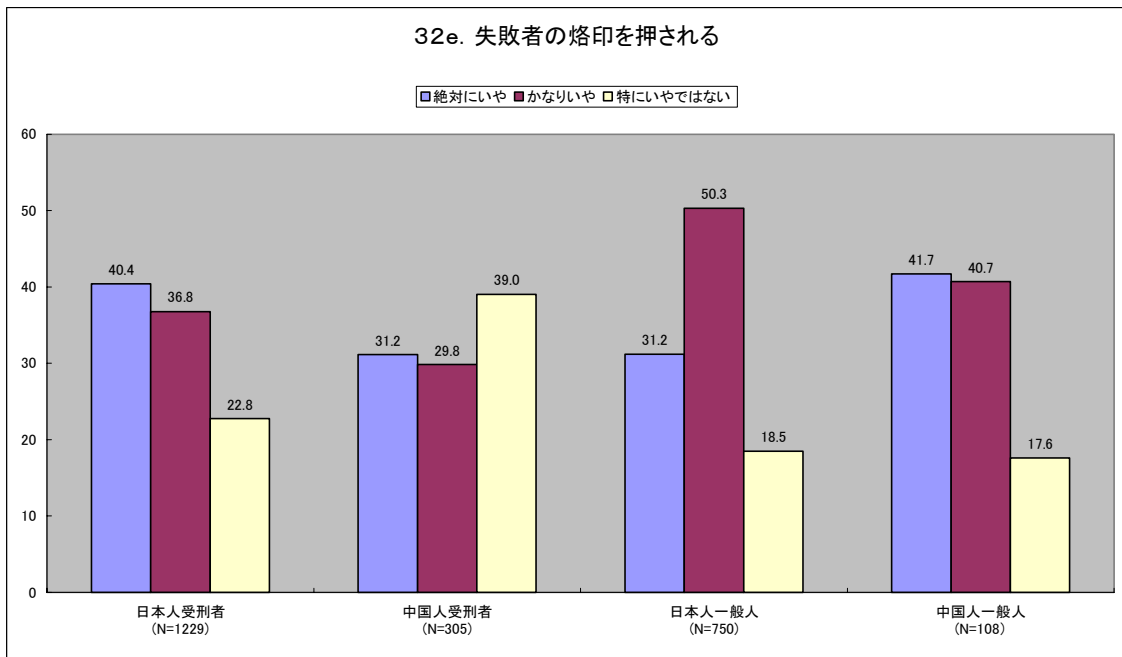
どのグループにとっても、家族に捨てられることは同じように嫌なことで受け止められている (図 3 2 c)。

### 信用を失う

どのグループの回答も大きな差はない。しいて言えば、一般日本人の場合、「特に嫌ではない」という回答がごく僅かに留まっている点に特徴がある(図 3 2 d)。



### 失敗者の烙印を押される

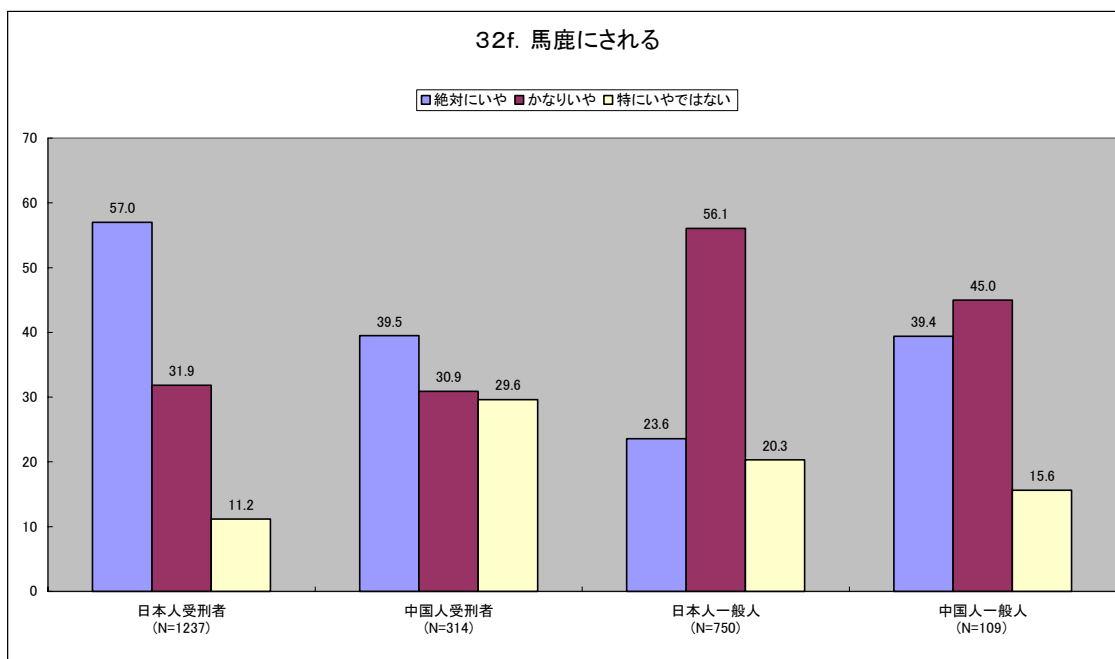


日本人受刑者と一般中国人の回答が似通っている。中国人受刑者と一般日本人の違いは、中国人受刑者は「特に嫌ではない」とする割合が高いのに対し、一般日本人は中間回答が飛びぬけて多い(図32e)。

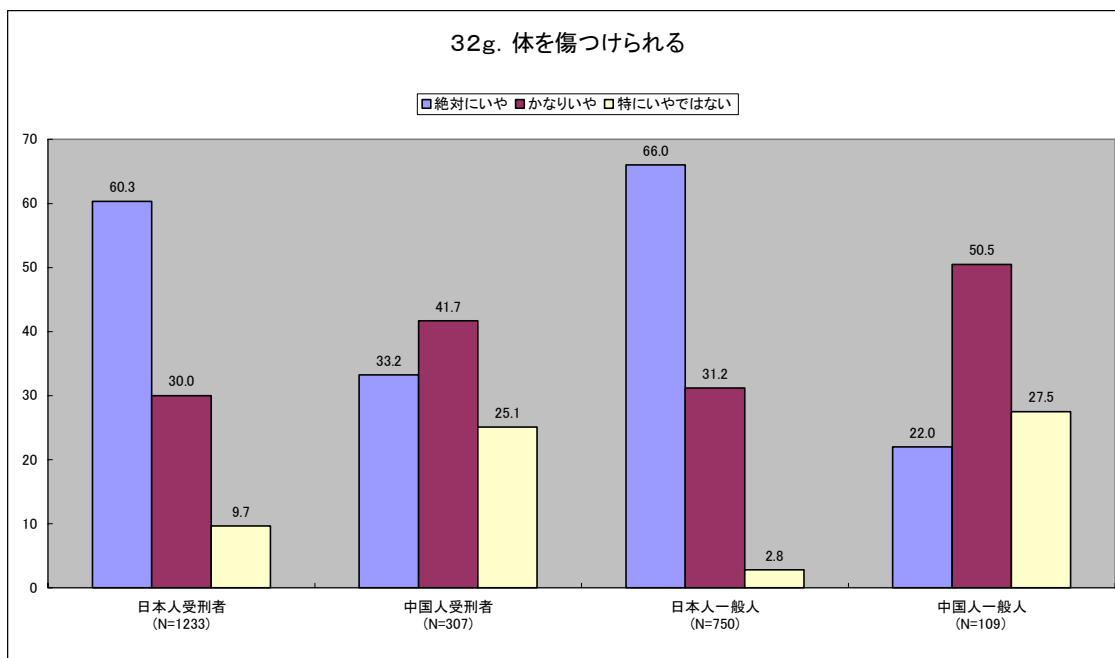
### 馬鹿にされる

日本人受刑者の回答結果を全体に押しつぶすと中国人受刑者の回答結果になる。日本人

受刑者に暴力団関係者が含まれることが、馬鹿にされることを嫌う彼らの反応につながっているのだろう。一般人の間では、中国人の方が馬鹿にされることに敏感である(図3 2 f)。

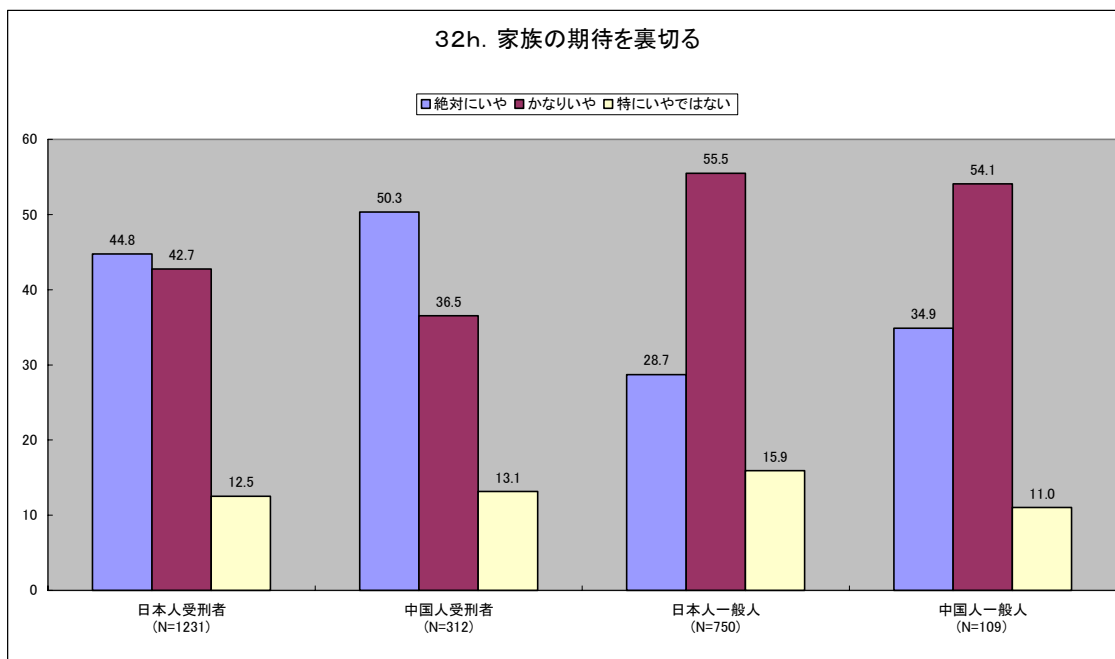


体を傷つけられる



日本人と中国人の間の回答の違いが目につく (図3 2 g)。日本人にとって嫌な度合いが強いのは、日本社会では未だに親からもらった体に傷つけることに対する否定的な考え方が残っている所為だろうか。

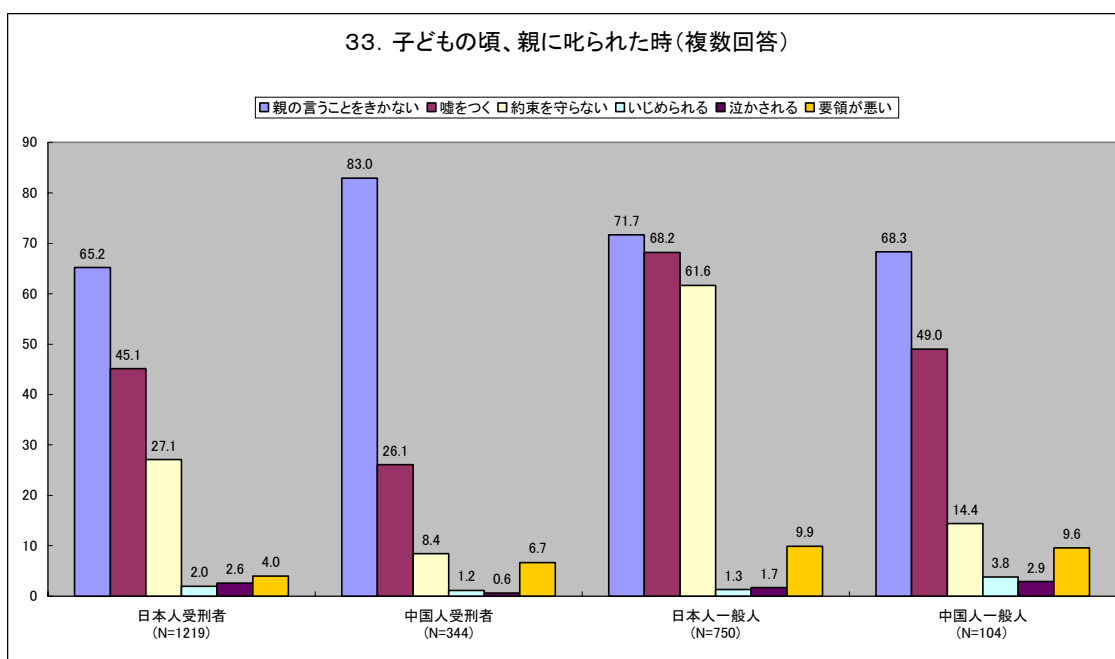
## 家族の期待を裏切る



ここでは、受刑者と一般人の間の違いが目立つ。受刑者には、家族の期待を裏切ることを避けたい気持ちが強いことが明らかである(図 3 2 h)。

## 親の躰

どんなことをした時に親はしかったか



子供のときに親からきちんとした躰がおこなわれたのだろうか。受刑者の場合、嘘をつ

くとか、約束を守らないといった躰の基本ができていなかったのではないだろうか。

どのグループも親の言うことをきかないと叱られるという経験は共通している。これは、親の勝手な都合で叱られたと解釈することもできる。

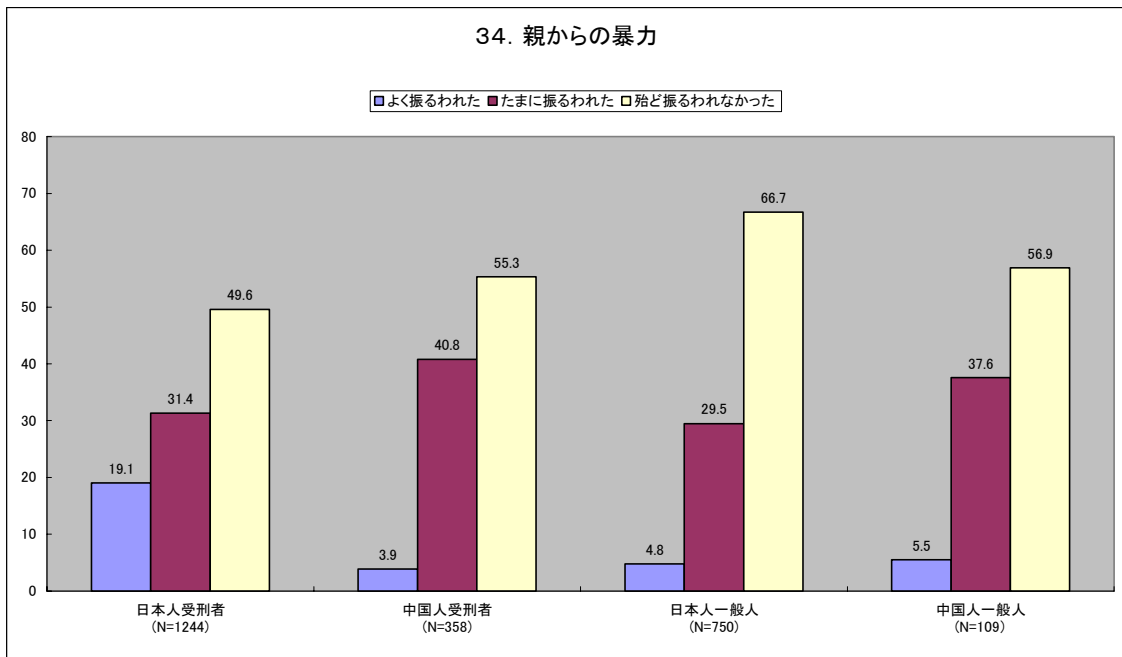
この項目を除くと、他の集団に比べて、一般日本人がしっかり躰られていたことがわかる。日本人同士でもその違いは明らかである。他方、今回の結果は、中国人受刑者がまともな躰をされていないことを示すものとなった。

こうした結果は、子供のときに「嘘をつかない」「約束を守る」といった基本的な社会ルールをしっかり身に着けるような躰の重要性を示唆していると思われる。

### 親からの暴力、家族への暴力

#### 親からの暴力

どのグループでも、親から暴力を「殆ど振るわれなかった」という回答が最も多いが、注意をひくのは、日本人受刑者では他のグループよりも、親から暴力を「よく振るわれた」という回答が2割弱と多いことである(図34)。日本人受刑者に傷害罪で服役しているものが29%いることとの関係が気になるところである。

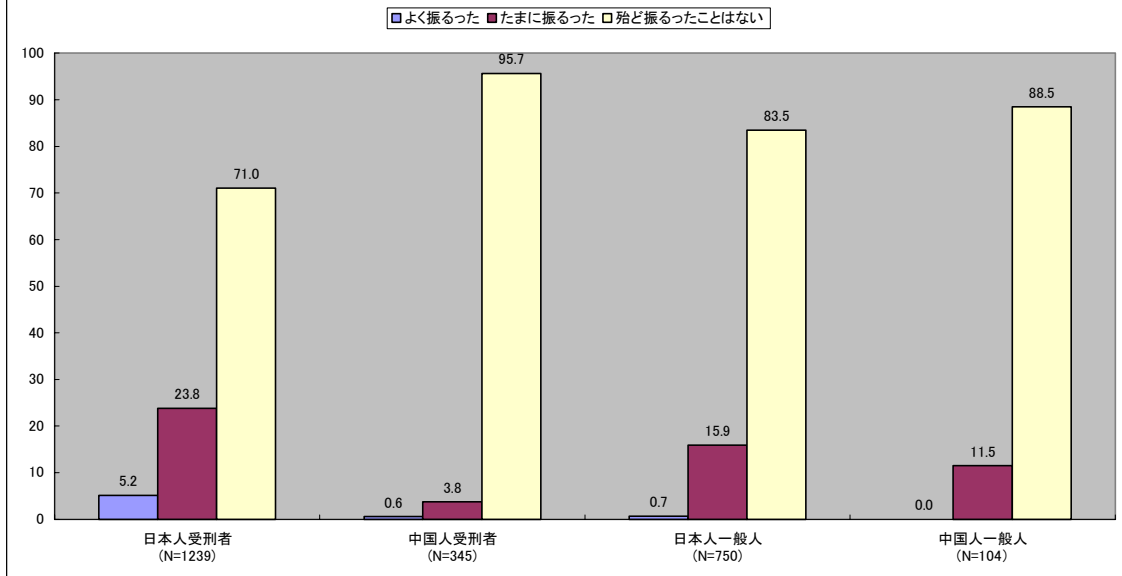


#### 家族への暴力

「親から振るわれた暴力」との関連が考えられるが、日本人受刑者の5%は、家族に暴力を「よく振るった」と答えており、24%が「たまに振るった」と答えている(図35)。今回の調査で見る限り、日本人の家庭における暴力の方が、中国人の家庭での暴力よりも多いことが示された。



### 35. 家族への暴力



以上、日本人と中国人受刑者の行為の根底にある考え方や価値観について、一般人との対比をしながら分析してきた。今回の分析結果に含まれる示唆が、日本人および中国人による犯罪に的確に対応するうえで、若干なりとも役に立つものであることを願って入る。

# 治安に関する意識調査

#5Y08 2005.5

日頃より弊社の各種調査にご協力いただき誠にありがとうございます。

今回は、「治安」についての調査をお願いすることになりました。この調査は、20才から69才までの一般市民を対象として実施されるものです。何かとご多忙の所恐縮ですが、ご協力下さいますようお願い申し上げます。

## < 回答要領 >

- ◎ ご回答は、必ずあなた様がご自身でなさってください。
- ◎ 回答項目が用意されている質問では、適する項目を選び、クリックしてください。
- ◎ 質問文の最後に、(回答は1つだけ)と書かれている質問では、回答項目の中から最も適するものを1つだけ選んでください。
- ◎ 質問文の最後に、(回答はいくつでも)と書かれている質問では、回答項目の中からあなたの場合やお考えに合うものをすべて選んでください。
- ◎ その他、ご質問やご不明な点については、下記までお問い合わせください。

## < ご協力のお願い >

問1) 次の a～k の行為は、それぞれ、どれくらい悪いことだと思いますか。 a～k それぞれについて、

1～4の回答項目の中から、あなたのお考えに最も近いものを1つずつ選んでください。

(回答は a～k そ

れぞれ1つずつ)

	1 悪くない	2 少し悪い	い 3 かなり悪	い 4 非常に悪
a. 嘘をつく	1	2	3	4
b. 仲間を裏切る	1	2	3	4
c. 他人のものを壊す	1	2	3	4
d. 他人のものを盗む	1	2	3	4
e. 他人のものを勝手に使う	1	2	3	4
f. 怪我をさせる	1	2	3	4
g. 暴力をふるう	1	2	3	4
h. 人を殺す	1	2	3	4
i. 脅かす	1	2	3	4
j. 社会のルールを守らない	1	2	3	4
k. 性的行為を強要する	1	2	3	4

問2) 次の a～e の各項目について、思うか、思わないか、答え下さい。

(回答は

それぞれ1つずつ)

a. だまされるのは、だまされる方が悪いと思いますか	1. 思う	2. 思わない
b. ものやお金を盗まれるのは、油断する方が悪いと思いますか	1. 思う	2. 思わない

c. 犯罪の被害者になるのは、用心しないからだと思いませんか	1. 思う	2. 思わない
d. 金持ちからは、金品を奪っても許されると思いませんか	1. 思う	2. 思わない
e. 自動販売機やATMは、盗まれても仕方がないと思いませんか	1. 思う	2. 思わない

問3) 罪を犯しても警察に捕まらないこともあります。日本では、服役する必要がある罪を犯した人の何%くらいが捕まっていると思いませんか。(数値を記入してください)

--	--	--

%くらい

付問1) では、日本で次のa～gの犯罪を犯した場合、捕まる可能性はどのくらいだと思いますか。

(回答

はそれぞれ1つずつ)

	1 ほとんど 捕まらないと思う	2 捕まる確率は 2割以下だと思う	3 捕まる確率は 5割程度だと思う	4 大半が 捕まると思う
a. スリ	1	2	3	4
b. ひったくり	1	2	3	4
c. 空き巣	1	2	3	4
d. 強盗	1	2	3	4

e. 詐欺（悪徳商法など）	1	2	3	4
f. カード犯罪（盗用、流用など）	1	2	3	4

問4) あなたは、「警察に捕まらなくても、法律を犯すようなことをすると、いずれ本人の身に悪いことが起こり

ばちが当たる」と思いますか。（回答は1つだけ）

1. 思う      2. 思わない

問5) 皆が守るようにと決められた生活上の規則（例えば電車内での携帯電話の使用など）の中では

特に禁止されていないことをすることについて、あなたは、どう思いますか。（回答は1つだけ）

1. 当然やってもいい  
2. 確認が必要  
3. やらない方がいい

問6) 日本は犯罪をしやすい国だと思いますか。（回答は1つだけ）

1. 思う      2. 思わない

問7) 日本の刑罰は、一般に軽いと思いますか。重いと思いますか。（回答は1つだけ）

1. かなり軽い  
2. 少し軽い  
3. 少し重い  
4. かなり重い

問 8) 今後、日本における外国人犯罪は増えると思いますか。 (回答は1つだけ)

1. 非常にそう思う
2. 少しそう思う
3. そう思わない

問 9) 犯罪者に刑務所で服役させる主な目的は、次のうちのどれだと思いますか。 (回答は1つだけ)

1. 罰を受けさせるため
2. 反省して更正させるため
3. 拘禁しておかないと犯罪行為をするから

問 10) 刑期を終えれば、気持ちの上でも、犯罪者の罪は消えると思いますか。 (回答は1つだけ)

1. 完全に消える
2. 大半は消える
3. 一生消えない

問 11) もし、あなたの配偶者が罪を犯して服役することになったとしたら、あなたは離婚すると思いますか。

(回答は1つだけ)

1. きっと離婚する
2. 多分離婚する
3. 多分離婚しない
4. きっと離婚しない

問 12) 犯罪者が罪を犯すようになるのは、誰のせい、または何のせいだと思いますか。次の中で、罪を犯す理由として大きいとあなたが思うものを、すべてお答えください。 (回答はい

くつでも)

- |               |                      |
|---------------|----------------------|
| 1. 自分自身       | 7. 貧困                |
| 2. 親          | 8. 病気                |
| 3. 友人         | 9. 運が悪かった            |
| 4. 被害者        | 10. 働き口がない           |
| 5. さそった仲間・共犯者 | 11. 教育を受けていない        |
| 6. 社会         | 12. その他（具体的にご記入ください） |

い)

問 13) 次の a～d の場合それぞれについて、行為者自身の責任は何%くらいあると思いますか。

すべての責任があると思う場合は 100%、半分なら 50%、責任が全くないと思うなら 0%、

というように、0%から100%の間で教えてください。（数値で記入）

a) 仲間にさそわれて、盗みをした場合、その人の責任は  %  
くらい

b) 仲間を誘って、盗みをした場合、その人の責任は  %  
くらい

c) 出来心で、盗みをした場合、その人の責任は  %  
くらい

d) 生活苦から、盗みをした場合、その人の責任は  %  
くらい

問 14) あなたは、交通違反で捕まったことがありますか。（回答は1つだけ）

- ↓
1. ある                      2. ない

付問 1) 捕まった時、まず、どう思いましたか。次の中で、あなたの気持ちに最も近いものを選んでください。最新の事例でお答え下さい。(回答は1つだけ)

1. まさか
2. しまった
3. くやしい
4. 仕方がない
5. 当然

問 15) 日本の裁判は、公正だと思いますか。(回答は1つだけ)

1. 公正だ
2. 大体公正だ
3. 公正ではない

問 16) 日本の刑務所では、職員による暴行があると思いますか。(回答は1つだけ)

1. よくあると思う
2. たまにあると思う
3. ないと思う

問 17) あなたは、日本の警察官についてどう思っていますか。次の中からあてはまるものを選んでください。

(回答はいくつでも)

- |                  |            |
|------------------|------------|
| 1. 信用されている       | 6. 追求が鋭い   |
| 2. 怖い            | 7. 優秀      |
| 3. 賄賂を出せば見逃してくれる | 8. 親切      |
| 4. 暴力的           | 9. 悪いことをする |
| 5. 追求が甘い         | 10. 役に立たない |



問 18) あなたが最も望む人生の目標を、次の中からひとつ選んでください。 (回答は1つだけ)

1. 金持ちになる
2. 家族を幸せにする
3. 有名になる
4. 高い地位につく
5. 成功者として故郷に錦を飾る
6. 仲間に尊敬される
7. 勝手気ままに生きる

問 19) あなたは、この世の中は不公平だと思いますか。 (回答は1つだけ)

1. 非常に不公平
2. 少し不公平
3. 不公平ではない

問 20) あなたは、まじめに努力すれば報われると思いますか。 (回答は1つだけ)

1. 必ず報われる
2. 少し報われる
3. 報われない

問 21) あなたは、正直だと損をしたいと思いますか。 (回答は1つだけ)

1. 非常にそう思う
2. 少しそう思う
3. そう思わない

問 22) あなたは、幸せそうな人を見ると不愉快になりますか。 (回答は1つだけ)

1. 非常に不愉快
2. 少し不愉快
3. 不愉快にならない

問 23) あなたは、運が良いほうだと思いますか、悪いほうだと思いますか。 (回答は1つだけ)

1. 良いほう
2. 少し悪いほう
3. かなり悪いほう

問 24) たいていの人は信頼できると思いますか、それとも常に用心したほうがよいと思いますか。

(回答は1つ

だけ)

1. 信頼できると思う
2. 常に用心したほうがよいと思う

問 25) 他人は、スキがあればあなたを利用しようとしていると思いますか、それともそんなことはないと思いますか。

(回答は1つ

だけ)

1. スキがあれば利用しようとしていると思う
2. そんなことはないと思う

問 26) 今の世の中で成功している人の成功には、個人の才能や努力と、運やチャンスのどちらが大きな役割を

はたしていると思いますか。

(回答は1つだけ)

1. 個人の才能や努力
2. 運やチャンス

問 27) 今日なら1000円しかもらえないが、1週間後なら2000円もらえるとしたら、あなたは今日の

1000円と1週間後の2000円のどちらを選びますか。 (回答は1つだけ)

1. 今日の1000円
2. 1週間後の2000円

問 28) 嫌がる人にいうことをきかせるには、手荒なことをしても仕方がないと思いますか。  
(回答は1つだけ)

1. 仕方がない
2. してはならない

問 29) あなたは、危険だが大きなチャンスがある人生と、安全だが大きなチャンスはない人生のどちらを望みますか。  
(回答は1つだけ)

1. 危険だが大きなチャンスのある人生
2. 安全だが大きなチャンスのない人生

問 30) あなたは、お金さえあればほとんどのことはうまくいくと思いますか。  
(回答は1つだけ)

1. 思う
2. 思わない

問 31) 次の5つのうち、あなたにとって最も大切なものはどれですか。ひとつ選んでください。

(回答は1つだけ)

1. 金
2. 健康
3. 家族
4. 仲間
5. 面子 (メンツ)

問 32) 次のことは、あなたにとって、どのくらいいやなことですか。

(それぞれ回

答は1つずつ)

	1 絶対にいや	2 かなりいや	3 特にいやではない
a. 仕事をクビになること	1	2	3
b. 仲間から追放されること	1	2	3
c. 配偶者や家族に捨てられること	1	2	3
d. 信用を失うこと	1	2	3
e. 失敗者の烙印を押されること	1	2	3
f. 馬鹿にされること	1	2	3
g. 体を傷つけられること	1	2	3
h. 親や家族の期待を裏切ること	1	2	3

問 33) 子供の頃、親はあなたがどんなことをすると叱りましたか。

(回答はいくつでも)

1. 親の言うことをきかない
2. うそをつく
3. 約束を守らない
4. いじめられる
5. 泣かされる
6. 要領が悪い
7. 稼ぎが少ない

問 34) 子供の頃、あなたは親に暴力を振るわれましたか。

(回答は1つだけ)

1. よく振るわれた

- 2. たまに振るわれた
- 3. ほとんど振るわれなかった

問 35) あなたは、家族に暴力を振るったことがありますか。 (回答は1つだけ)

- 1. よく振るった
- 2. たまに振るった
- 3. ほとんど振るったことはない

問 36) あなたはどんなテレビ番組が好きですか。 (回答はいくつでも)

- 1. ニュース番組
- 2. サスペンス
- 3. 刑事ドラマ
- 4. ホームドラマ
- 5. アニメ
- 6. ホラー
- 7. 警察や裁判をあつかったドキュメンタリー
- 8. ワイドショー

問 37) これから2～3年の間に、あなたが次の犯罪の被害者になりそうな不安は、どの程度ありますか。

それぞれについてお答え下さい。

(回答はそれぞれ1

つずつ)

	1 かなりある	2 少しある	3 あまりない	4 ほとんどない
a. スリ	1	2	3	4
b. ひったくり	1	2	3	4
c. 空き巣	1	2	3	4
d. 強盗	1	2	3	4

e. 詐欺（悪徳商法など）	1	2	3	4
f. カード犯罪（盗用、流用など）	1	2	3	4

問 38) あなたの性別をお答え下さい。（回答は1つだけ）

1. 男性
2. 女性

問 39) あなたの年齢をお知らせください。（数値で記入）

--	--

 歳

問 40) あなたは、結婚していますか。（回答は1つだけ）

3. 未婚
4. 既婚
5. 離婚した
6. 死別した

問 41) あなたにはお子さんがいますか。（数値で記入）

--	--

 人      X. 子供はいない

問 42) 現在、あなたと同居している家族をお答え下さい。（回答はいくつでも）

- |        |                 |
|--------|-----------------|
| 1. 親   | 5. 祖父母          |
| 2. 兄弟  | 6. 孫            |
| 3. 配偶者 | 7. その他の親族       |
| 4. 子供  | 8. 同居している家族はいない |

問 43) あなたは、仕事などで家族と離れている時、家族のことを心配しますか。（回答は1つだけ）

1. 非常に心配する
2. 少し心配する
3. 特に心配はしない